

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる				
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	本年度目標値	78.0%	現状値	90.7%（H30）
成果指標		本年度目標値		現状値	

	実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
第1四半期	<p>成果指標「幸福感」については、平成 30 年度は 90.7%となった。アンケートでは前回同様「経済的安定」「健康状態」等を判断材料とされた割合が高かった。</p> <p>【政策 1 住みたい・住み続けたい環境の充実】1 月から 6 月までの出生数は 57 人で昨年比 5 人減少し、人口は、自然動態:96 人減、社会動態:114 人の転出超過で 210 人の減となった。移住定住奨励金は 9 件。H28～H30 実施の体験ツアーを見直し、実施の準備を進めた。夜間結婚相談については、告知に努め 1 件の相談。子育て応援手当については、児童手当の現況届と同時期に実施したため 80%の申請。</p> <p>【政策 2 住みよい持続可能なましこの創生】花のまちづくりでは小宅古墳群に多くの来場者があり、定着が図られている。ひまわり・コスモス祭の準備を進めた。自然エネルギー補助金関係では町HPや広報・お知らせ版に掲載するとともに窓口にチラシを用意し PR に努めた。ごみ減量化ではエコ土曜日の実施により資源物回収に努めた。</p> <p>【政策 3 健康・長寿ましこづくりの推進】毎月第 3 火曜日実施の「健康デー」は好評で、保健センターで運動実技や個別指導を実施した。道の駅では地元農産物の販売や食の提供を行った。健幸ポイント参加者は、新規 38 名の 626 名。</p> <p>【政策 4 だれもがいきいきと生活できる環境の充実】6 月末のサロン・予防教室参加人数は昨年同期とほぼ同数 291 名。デマンドタクシー利用人数はやや減だが昨年同。各小中学校では高齢者と、加えて七井小・七井中では益子特別支援学校と交流活動を行った。</p> <p>【政策 5 地域の安全・安心の強化】1～5 月の交通事故発生件数は 7 件で昨年比 1 増だったが、刑法犯は 18 件減の 30 件であった。なお、特殊詐欺被害防止の注意喚起を随時行った。</p>	<p>【政策1】お試し住宅は、入居者への事後相談等を積極的に行っていく。空き家バンクについては、周知の結果相談件数が倍増したが、登録が難しい物件もあり、方策の検討が必要。体験ツアーについては内容の検討を行い、新規内容で第 2 四半期の実施を目指す。</p> <p>【政策 2】里山整備では地元管理団体への支援に努める。ひまわり祭では交通整理を予算の範囲内で警備会社に委託し対応。自然エネルギーでは引き続き補助制度の浸透を図る。家庭用生ゴミについては生ゴミ専用袋の還元事業を 8 月から実施。</p> <p>【政策3】健幸ポイント事業の充実や周知を図るとともに地域通貨への交換も促す。運動の習慣化の推進を目指し、「ましこっ体操」の普及啓発や年に1回は健康診査を受診するよう啓発活動を行う。また特定保健指導や個別栄養相談を通して生活習慣病予防への意識改革や行動変化につながるよう支援していく。道の駅において、「新ましこ未来計画:食事を通じた健康づくりの推進」についての理解、協力を働きかける。チャレンジクラブでは、今後も会員増につながるよう広報やイベントを計画する。</p> <p>【政策4】各サロンの共通課題について、ボランティア研修を実施し、安定した運営を支援する。今後も会員増に向けてサロンの魅力の発信についてボランティアと検討する。小中学校の交流活動では福祉施設訪問や施設利用者との交流ができるよう支援を行う。生涯学習課では引き続き「いきいき講座」を支援する。デマンドタクシーについては、真岡市北山駅乗り入れについて申請をし乗り継ぎ連携の充実を図る。</p> <p>【政策5】今後とも交通事故減少に向け、安全教室の開催や県と連携しながら道路環境の整備に努める。また見守り活動として青色パトロールを行うとともに、スクールガードの確保に向け募集を行う。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第2四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	90.7	78.0	—	—
政策1	①人口の社会動態	人	▲124	±0	▲114(1-9)	▲11
	②年間出生数	人	115	184	81(1-9)	▲13
政策2	①里山整備実施箇所数（累計）	箇所	36	38	37	+1
	②エネルギー自給率	%	31.0	28.0	—	—
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	411	250	—	—
	④ごみの分別リサイクル率	%	29.4	46.0	—	—
政策3	①健康寿命の推定値	歳	男 79.5 女 84.1	80.0 85.0	— —	— —
	②18歳以上の運動習慣者の割合	%	17.9	28.0	—	—
	③メタボ該当者の割合	%	19.2	14.3	—	—
	④メタボ予備軍の割合	%	11.6	10.2	—	—
政策4	①介護予防教室等の参加者数	人	308	280	305	+12
政策5	①刑法犯発生件数	件	98	53	48	▲14
	②交通事故発生件数（人身）	件	17	17	10	▲1

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①移住定住奨励金：19件交付。体験ツアーの見直しを行い、オーダーメイドツアー実施要領制定。移住定住相談：48件。空き家・空き地バンク登録：12件、成約：6件。</p> <p>②婚活イベント（商工会）：男女各10名参加カップル3組。夜間結婚相談9/20：相談者1名</p> <p>2 ①ひまわり祭り8/10～18：来場者46,865名。里山林整備新規組織（大平）整備箇所の調整を実施。</p> <p>②自然エネルギー補助金：バイオマスストーブ4件、住宅用蓄電池5件、太陽光発電4件。</p> <p>③「生ごみリサイクルマッシュバック事業」8月から開始。生ごみ専用袋PR動画を作成、公開。</p> <p>④資源物回収団体による回収量は、前年度同期より減。エコ土曜日の資源ゴミ回収実績は前年度を上回る。</p> <p>3 ①健康ポイント参加者：665名（新規39名）。健康デー参加者：361名（新規42名）</p> <p>②チャレンジクラブ加入者527名（前年度同期527名）。</p> <p>③④健康デーを利用し、個別栄養相談、保健指導、集団運動指導を実施。食育推進のため「健康レシピ」募集（テーマ：美味しい減塩料理）。</p> <p>4 ①介護予防教室等については、参加者増。新規サロン開設に向け準備を行った。各小・中学校においては、高齢者、障がい者に関する事業を実施。</p> <p>5 ①防犯灯設置：23基。特殊詐欺注意喚起メール配信：9回。</p> <p>②交通安全教室：82回4,578名（うち高齢者7回、235名）。免許返納：36名。通学路の危険箇所点検実施（建設課）。通学路の新規危険箇所申請受理：新規7箇所（通学路安全対策推進協議会：学校教育課）。</p>	<p>1 ①空き家バンクについて、空き家調査、登録意向調査に基づき登録物件の掘り起こしに努める。</p> <p>②ファミリーサポート事業の活用がされていないため、周知に努める。</p> <p>2 ①前沢町有林遊歩道について整備の検討を行う。</p> <p>②自然エネルギー利用促進の周知に努める。再生可能エネルギーについては、引き続き情報収集を実施。</p> <p>③「生ごみリサイクルマッシュバック事業」、PR動画について周知に努める。</p> <p>④資源物回収団体による回収量が、ごみ処理にかかる芳賀広域分担金への効果について広報誌に掲載。</p> <p>3 ①健康デー参加者が増加傾向のため、利用頻度等実施内容の検討を行う。ましこっと体操を運動教室等に取り入れ普及に努める。</p> <p>②加入者増に向け、広報誌を通じ周知を図る。</p> <p>③④「食に関する調査」の結果分析を行い、次期「食育推進計画」の検討を行う。</p> <p>4 ①新規サロンを開設するとともに、運営については、ボランティアへの支援を行う。</p> <p>5 ①10月から公用車による青色パトロール開始。特殊詐欺注意喚起については、随時実施。</p> <p>②通学路安全対策推進協議会（学校教育課）を11月18日に開催し、合同点検、対策方法を検討。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	第3四半期
------	---------------	-------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしと感じる人」の割合	%	90.7	78.0	—	—
政策 1	①人口の社会動態	人	▲124	±0	▲114	+10
	②年間出生数	人	115	184	112	▲3
政策 2	①里山整備実施箇所数（累計）	箇所	36	38	37	+1
	②エネルギー自給率	%	31.0	28.0	—	—
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	411	250	—	—
	④ごみの分別リサイクル率	%	29.4	46.0	—	—
政策 3	①健康寿命の推定値	歳	男 79.5 女 84.1	80.0 85.0	— —	— —
	②18歳以上の運動習慣者の割合	%	17.9	28.0	—	—
	③メタボ該当者の割合	%	19.2	14.3	—	—
	④メタボ予備軍の割合	%	11.6	10.2	—	—
政策 4	①介護予防教室等の参加者数	人	308	280	318	+15
政策 5	①刑法犯発生件数	件	98	53	68	▲30
	②交通事故発生件数（人身）	件	17	17	17	0

実施内容・成果の総括	次期四半期以降への方針
<p>1 ①移住相談件数：68件。移住定住奨励金：31件交付。空き家バンク：登録16件、成約8件。相談件数45件。協力業者との意見交換会実施。登録要件の柔軟化に向けた意思統一を図った。お試し住宅利用者の移住：3件、6人。</p> <p>②子育て応援手当申請締切り：1,910世帯、3,332人に交付（98.98%）</p> <p>2 ①アカマツ復活プロジェクト間伐作業実施。台風19号の復旧工事について事業主体の分担を行った。</p> <p>②自然エネルギー補助金：バイオマスストーブ5件、住宅用蓄電池6件、太陽光発電7件。太陽光発電は減少傾向。</p> <p>③生ごみ家庭係：199t。フードドライブ実施：251点、134kg。</p> <p>④資源物回収奨励事業：351t回収（第1,2四半期）。</p> <p>3 ①健康ポイント参加者：694名 新規113名（4月～12月）。健康デー参加者：553名（新規60名）。</p> <p>②チャレンジクラブ加入者580名（12/10現在）。昨年同（前年度同期583名）。</p> <p>③④健康デー参加者：555名（新規58名）。個別栄養相談、保健指導、集団運動指導を実施。</p> <p>4 ①12月末のサロン・予防教室参加人数：318名で増加傾向。デマンドタクシー利用累計人数：12,129人で増加傾向。</p> <p>5 ①防犯灯設置：48基。青色防犯パトロール実施。</p> <p>②交通安全教室：107回6,481名（うち高齢者12回、390名）。免許返納：56名。町道18号七井大平線用地の補償業務の予算化。</p>	<p>1 ①お試し住宅の運用期間を来年度末まで延長。入居者へのフォローを積極的に実施。空き家バンクについては、登録要件柔軟化、制度の周知により登録件数増を図る。</p> <p>②「子ども子育て支援事業計画（案）」のパブリックコメントを実施。</p> <p>2 ①里山整備では地元管理団体の掘起しと既存団体への支援に努める。</p> <p>②自然エネルギー利用促進の周知に努める。</p> <p>③フードドライブについて、事業の継続的实施を検討。</p> <p>④資源物回収奨励事業の推進を図る。</p> <p>3 ①未加入者や無関心層への働きかけを推進し、加入者を増やし、運動を通じた健康づくりを推進する。</p> <p>②加入者増に向け、広報誌に興味を持てる記事を掲載し、加入促進を図る。</p> <p>③④健康寿命の延伸やメタボ対策を踏まえた食育推進会議推薦の減塩や野菜摂取量増加を促す「健康レシピ」を紹介することを検討。</p> <p>4 ①田野地区へのサロン設置を検討。</p> <p>5 ①特殊詐欺対策電話機等購入補助を開始。周知に努める。</p> <p>②スクールガードの新規勧誘に努める。町道18号七井大平線拡幅事業の実施に向け用地測量等を実施。</p>

基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	本年度総括 (第4四半期含)
------	---------------	-------------------

区分	成果指標・KPI	単位	前年度実績	年度目標値	現在実績値	対前年同期
成果指標	「幸せな暮らしとを感じる人」の割合	%	90.7	78.0	—	—
政策 1	①人口の社会動態	人	▲124	±0	▲114	+10
	②年間出生数	人	115	184	112	▲ 3
政策 2	①里山整備実施箇所数（累計）	箇所	36	38	36	0
	②エネルギー自給率	%	31.0	28.0	56.7	+25.7
	③1人1日あたり家庭系ごみ排出量	g	411	250	421	+10
	④ごみの分別リサイクル率	%	29.4	46.0	28.1	▲1.3
政策 3	①健康寿命の推定値	歳	男 79.5 女 84.1	80.0 85.0	— —	— —
		%	17.9	28.0	—	—
	③メタボ該当者の割合	%	19.2	14.3	20.3	+1.1
	④メタボ予備軍の割合	%	11.6	10.2	11.1	▲0.5
政策 4	①介護予防教室等の参加者数	人	308	280	342	+34
政策 5	①刑法犯発生件数	件	98	53	68	▲30
	②交通事故発生件数（人身）	件	17	17	17	±0

実施内容・成果の総括	次年度への方針
<p>1 ①移住相談件数：87件。移住定住奨励金：42件交付。空き家バンク：登録21件、成約12件。お試し住宅利用者の移住：4件。関係人口創出ツアー26人。 ②子育て応援手当で支給：1,884件、3,300人に交付（98.6%）</p> <p>2 ①里山整備を当初予定していた地区が実施できなくなり、昨年度と同じ36箇所。 ②自然エネルギー補助金：バイオマスストーブ5件、太陽光発電11件で昨年同件数、新規補助金住宅用蓄電池11件。 ③生ごみ家庭係：263t（前年度278t）。フードドライブ実施：251点、134kg。 ④資源物回収奨励事業：514t回収（第3四半期まで）。</p> <p>3 ①健幸ポイント参加者：714名（延）新規113名。健康デー参加者：691名（新規69名）。 ②チャレンジクラブ加入者586名（前年度587名）。 ③④健康デー開催、個別栄養相談、保健指導、集団運動指導を実施。</p> <p>4 ①サロン・予防教室参加人数：342名で増加傾向。デマンドタクシー利用累計人数：15,464人で増加傾向。</p> <p>5 ①防犯灯設置：97基。青色防犯パトロール実施。特殊詐欺対策電話機購入対策補助金：7件 ②交通安全教室：129回7,800名（うち高齢者13回、430名）。免許返納：78名。</p>	<p>1 ①奨励金は制度上最終年度となるため今後の在り方を検討する。お試し住宅の運用期間を延長すると共に、空き家バンクの登録物件の掘り起こしを行う。 ②婚活イベントの検討と子育て支援事業計画に沿った支援策の周知を図る。</p> <p>2 ①今年度予定していた地区と新たに事業実施希望地区に対し合意形成ができる様、支援を行う。 ②バイオマスストーブと住宅用蓄電池に加えR2より新たに自動車等充電システムの導入を推進して行く。 ③生ごみ処理が若干減少傾向のため、生ごみの各事業のPRを行う。フードドライブについては引き続き実施する。 ④紙以外にアルミ等の回収品目の追加を奨励して行く。</p> <p>3 ①未加入者や無関心層へ働きかけ、参加者を増やすとともに、健康デーの事業内容をより一層充実させて行く。 ②広報誌を利用し、興味ある記事を掲載し、現会員と新規会員の加入促進に努める。 ③④引き続き健康デーを開催し、栄養相談や保健指導等を行う。また、食育推進会議推進レシピの普及を図る。</p> <p>4 ①サロンについては、安定した運営のための支援を行う。デマンドについては、乗継の利便性向上・町外施設への乗入れ等課題の検討を行う。</p> <p>5 ①特殊詐欺対策電話機購入対策補助金の周知に努めるとともに青色防犯パトロールを積極的に行う。 ②交通安全教室等により交通安全の注意喚起をするとともに、スクールガードの増加に努める。</p>

		課局名	企画課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	選ばれる町への転換	進捗状況	100%		
KPI	人口の社会動態（暦年：1～12月）	本年度目標値	±0人	現状値	▲114人（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			①②相談【企：4件】【道：6件】 ③奨励金【交付決定：6件】 ④お試し住宅【利用：2件】 ⑤バンク【登録：2件】【成約：1件】	
	5月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務 ③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアー・関係人口創出ツアーの検討、栃木県移住支援事業※の開始 ⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査		①②相談【企：2件】【道：8件】 ③奨励金【交付決定：1件】 ④お試し住宅【利用：1件】（4月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(5/16) オーダーメイドツアー打合せ(5/10) 栃木県移住支援事業について町HP及び住民課窓口にて周知開始 また、商工会員等に求人情報掲載に係るチラシを配布 ⑤バンク【登録：1件】【成約：2件】 空き家バンク制度案内チラシを固定資産税納税通知書に併せて送付（全件）	
	6月	※ 東京23区の在住者等が、県が運営する企業情報掲載サイトに掲載された求人に新規就業し、県内市町に移住した場合に、国・県・町が支援金を交付する事業		①②相談【企：5件】【道：7件】【都内セミナー：1件】 ましこ里山手帖の増刷（5,000部） ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅【利用：1件】 関係人口創出ツアー関係者打合せ(6/5, 6/13, 6/17, 6/26) オーダーメイドツアー先進事例情報収集 ⑤バンク【登録：3件】【成約：1件】	
	7月			①②相談【企：1件】【道：4件】 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件】 関係人口創出ツアー関係者打合せ(7/10, 7/12, 7/26) ⑤バンク【登録：3件】【成約：1件】 空き家調査の実施（7/10～7/11、52件）	
	8月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務 ③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアー・関係人口創出ツアーの参加者募集・実施、栃木県移住支援事業の周知・申請受付 ⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査		①②相談【企：1件】【道：2件】 ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅【利用：1件】（7月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(8/19, 8/21) 関係人口創出ツアー参加者募集PR（8/24都内にて） ⑤空き家調査に基づくバンク登録意向調査（9/30〆切。送付24件、返信8件）	
	9月			①②相談【企：3件】【道：4件】 ③奨励金【交付決定：5件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は7月から引き続き） 関係人口創出ツアー参加者募集PR（9/11、9/15都内にて） 関係人口創出ツアー関係者打合せ・開催準備(9/26, 9/27) 関係人口創出ツアー第1回開催（9/28）申込み11名、参加9名 オーダーメイドツアー実施要領制定（9/18） ⑤バンク【登録：3件】【成約：2件】	
	10月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務		①②相談【企：6件】【道：3件】【都内セミナー：18件】 ③奨励金【交付決定：4件】 ④お試し住宅【利用：2件】（うち1件は9月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ(10/11、10/23) ⑤バンク【登録：2件】【成約：1件】	
	11月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアーの参加者募集・実施、関係人口創出ツアーの実施、栃木県移住支援事業の周知・申請受付 ⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査		①②相談【企：4件】【道：3件】【セミナー（横浜）：9件】 ③奨励金【交付決定：2件】 ④お試し住宅【利用：1件】（10月から引き続き） 関係人口創出ツアー関係者打合せ・開催準備(11/6, 11/8) 関係人口創出ツアー第2回開催（11/9-10）申込み16名、参加15名 ⑤バンク【登録：1件】【成約：1件】	
	12月			①②相談【企：3件】【道：2件】【都内セミナー：6件】 ③奨励金【交付決定：6件】 ④関係人口創出ツアー関係者打合せ(12/13) ⑤バンク【登録：1件】 協力業者との意見交換会（12/9）	
	1月	①②移住定住計画のターゲットに沿った事業運営 移住コンシェルジュによる道の駅での移住定住サポート業務		①②相談【企：0件】【道：7件】【都内セミナー：9件】 1/12二十歳の集いにて参加者にましこ里山手帖を配布 1/25都内開催の農業人フェアにてましこ里山手帖を配布（農政課） ③奨励金【交付決定：5件】 ④お試し住宅【利用：1件】 関係人口創出ツアー事後活動（1/19）参加5名 ⑤バンク【登録：1件】	
	2月	③奨励金申請受付 ④お試し住宅運営、オーダーメイドツアーの参加者募集・実施、栃木県移住支援事業の周知・申請受付		①②相談【企：3件】【道：3件】 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件】（1月から引き続き） ⑤バンク【登録：2件】【成約：1件】	
	3月	⑤空き家・空き地バンク登録可能物件の交渉・調査		①②相談【企：5件】【道：1件】 ③奨励金【交付決定：3件】 ④お試し住宅【利用：1件】（1月から引き続き） 関係人口創出ツアー事後活動（3/22）参加11名 4月発行の雑誌にオーダーメイドツアーの紹介記事を掲載 ⑤バンク【登録：2件】【成約：2件】	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>1～6月の社会増減：▲114人（転入：291人、転出：405人）</p> <p>①②第1四半期における相談件数は昨年度より増加（R1：32件、H30：25件、H29：29件、H28：13件）しており、昨年度と同様に道の駅での相談件数が多くなっている（R1：21件、H30：15件）。</p> <p>④お試し住宅は、昨年度は第1四半期の利用はなかったが、今年度は5月下旬の2週間程度の未利用期間及び入替清掃期間（中2日程度）を除き、フル稼働であった。</p> <p>⑤空き家バンクについては、固定資産税納税通知書（全件）に制度案内チラシを同封して周知を図った結果、登録に関する相談件数は前年同期（H30：13件）より倍増し、24件となった。しかし、相続手続きが済んでいない物件や未登記家屋など、バンクへの登録が難しい物件の相談も増えてきた。</p>	<p>①②移住定住推進計画で定めたターゲット（第1：近隣市町在住の子育て世代、第2：UIターンを希望する若者）に寄り添った事業展開を図り、移住希望者一人ひとりを着実に移住へとつなげていくことで、社会動態±0を目指す。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、入居者へのフォローを積極的に行っていく。関係人口創出ツアーについては、参加者の募集方法やツアー内容について十分検討し、参加者の確保とツアー終了後も当町に関わり続けられる仕組みづくりを進めていく。オーダーメイドツアーについては、実施要領を定めると共に、訪問先を開拓していく。</p> <p>⑤空き家バンク制度の認知度が上がり相談件数が増加した半面、現行制度上登録が難しい物件についての相談も増えてきたため、協力不動産業者と連携を取りながら、登録物件の増加に向けた方策について検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>1～9月の社会増減：▲114人（転入：416人、転出：530人）</p> <p>①②第2四半期までの相談件数は昨年度と同数（R1：47件、H30：47件、H29：60件、H28：22件）であったが、昨年同様道の駅での相談が多くなっている（R1：31件、H30：29件）。</p> <p>④お試し住宅は、第1四半期に引き続きほぼ切れ目なく利用があった。関係人口創出ツアーは第1回を開催した。参加者数は、定員10名に対して申込み11名、当日欠席2名で9名であった。アンケート調査結果では、満足度は5段階評価で平均4.5点であった。また、今後地方に関わってみたいという気持ちになったかという問いでは、5段階で平均4.6点であり、関係人口の創出につながる意識づけに一定の成果があったと言える。オーダーメイドツアーは、実施要領等を制定したにとどまった。</p> <p>⑤空き家バンクは、上半期の相談件数が昨年度と比較して倍増（R1：36件、H30：17件）しており、バンクの認知度が高まっていることがわかる。なお、登録となった物件は優良なものは早期に成約となるため、成約率が高いことは良いことだが、常時登録されている物件数が少ないことが課題である。</p>	<p>①②移住定住推進計画で定めたターゲットに寄り添った事業展開を図り、移住希望者一人ひとりを着実に移住へとつなげていくことで、社会動態±0を目指す。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、引き続き入居者へのフォローを積極的に行っていく。関係人口創出ツアーについては、11月の第2回（1泊2日）の開催に向け、より充実したツアーとなるよう内容を検討すると共に、その後も関わり続けられる仕組みづくりを進めて行く。オーダーメイドツアーについては、利用者の確保に向けPRを行っていくと共に、訪問先の開拓を進める。</p> <p>⑤空き家バンクについては、弾力的な制度運用により登録数の増加を図ってきたが、申請数を増やす取組として、空き家調査やその後の登録意向調査の結果に基づき登録物件の掘り起こしに努めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>1～12月の社会増減：▲114人（転入：533人、転出：647人）</p> <p>①②第3四半期までの相談件数は昨年度と比べ微増（R1：68件、H30：65件、H29：76件、H28：28件）であった。</p> <p>④お試し住宅は、11月後半から12月にかけては利用者不在期間となった。関係人口創出ツアーは第2回を開催した。アンケート調査結果では、満足度は5段階評価で平均4.8点であった。終了後、地域住民と参加者によるSNSのグループの設立やその活用による情報交換等が行われており、事後も当町に関わる関係人口の創出に一定の成果があった。オーダーメイドツアーは都内等のセミナー時での紹介やHP・窓口でのPRを行ったほか、関係人口創出ツアーの開催に併せて訪問先の開拓を行ったが、個人での利用者はなかった。</p> <p>⑤空き家バンクは、協力業者との意見交換会を開催し、登録要件の柔軟化に向け意思統一を図った。</p>	<p>①②移住定住推進計画で定めたターゲットを始め、当町出身者や当町に関わりのある方、興味がある方にもすそ野を広げた事業展開を図り、将来的に移住者となりうる関係人口を拡大すると共に、相談業務を通じて移住希望者一人ひとりを着実に移住へとつなげていくことで、社会動態±0を目指す。</p> <p>③奨励金については、引き続き税務課と連携し運用を図る。</p> <p>④お試し住宅については、利用者の移住が3件実現したため、運用期間を来年度末まで延長すると共に、入居者へのフォローを引き続き積極的に進めていく。関係人口創出ツアーについては、今後の町の関わり方について検討する。オーダーメイドツアーについては、利用者の確保に向けPRを続けると共に、引き続き訪問先の開拓を進める。</p> <p>⑤空き家バンクについては、登録要件の柔軟化により登録件数を増やすと共に、空き家の所有者に対して引き続き制度の周知に努める。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②企画課・道の駅相談件数は87件（H30：91件、H29：99件、H28：49件）と昨年度に比べやや減少した。新型コロナウイルスの影響によるせいか、道の駅での2～3月の相談件数は昨年度と比べて大きく減少した（R1：4件、H30：11件）。</p> <p>③定住促進住まいづくり奨励金の交付件数は42件で、前年度より1件の増だった。うち移住者については19件であり、3件の増であった。</p> <p>④お試し住宅は切れ目なく利用されており、利用者の移住は4件となる見込み。また、今年度から実施した関係人口創出ツアーは、町が企画した2回のツアー終了後も、受け入れた町民が主催するイベントが2回行われており、継続的に町に関わる人口の増加に向けた兆しが見えている。</p> <p>⑤空き家バンクについては、登録物件は持続的に増えているが、優良な物件は早期に成約してしまうため、需要に対して供給が追いついていない状況にある。</p>	<p>①②新型コロナウイルスの影響により人の流れが制約を受けており、短期的には相談等の件数が伸びにくい状況にあるが、地方の魅力を発信できる好機ととらえ、第3四半期で挙げた方針・改善点に沿った取り組みを着実に実行していく。</p> <p>③奨励金については継続的な需要が確認できるが、来年度が制度上の最終年度となるため、より効果的な支援のあり方について検討する。</p> <p>④お試し住宅は、利用者の移住が累計で4件実現見込みであるため、運用期間を1年間延長すると共に、その後のあり方について検討する。関係人口創出ツアーは、取り組みを継続することにより、受け入れる町民の自走を後押しすると共に、関わる方の拡大を図る。オーダーメイドツアーは、利用者の確保に向け、お試し住宅の利用も含めたPRを行っていくと共に、引き続き訪問先の開拓を進める。</p> <p>⑤空き家バンクは、空き家の所有者に対する制度の周知や登録の勧奨を継続的に行うほか、物件の掘り起こしに向けた調査を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	第2四半期の方針・改善点を踏まえ、引き続き各取組を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 町の人口増のため今後も努力が必要と感じている。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	転入・転出者の傾向について改めて調査・分析を実施すると共に、調査・分析結果を基に、より転入増加・転出抑制に効果的な既存施策・制度の洗い出しとPRを進める。また、併せて次期総合計画の策定に向け、定住促進住まいづくり奨励金を始めとした既存施策・制度の見直しや、移住者の受入態勢の充実に向けた新たな施策・制度の検討を進める。 空き家バンクについては、移住検討者のニーズが非常に高い制度である一方で、優良な物件が不足している状況であるため、登録物件の増加に向けて引き続き制度のPRに努めていくと共に、定期的に物件の掘り起こしに向けた調査を行っていく。また、次期総合計画の策定に向け、登録申請の支援策についても併せて検討を進める。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 お試し住宅や空き家バンクなどについては、一定の利用者数や登録・成約件数があることから、継続することとし、今後の成果を期待したい。	

		課局名	観光商工課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	選ばれる町への転換	進捗状況	100%		
KPI	人口の社会動態（暦年：1～12月）	本年度目標値	±0人	現状値	▲114人（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	5月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有		②月2回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	6月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	7月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	8月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有		②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	9月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	10月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	11月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有		②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	12月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	1月			②1月については、月1回道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	2月	①②移住コンシェルジュと連携をとりながら、就職や起業に関する情報を希望者へ提供する。 ⑤空き家バンク（店舗）の状況について、関係課との情報共有		②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	
	3月			②月3回、道の駅に求人情報紙を設置するとともに、求人情報紙をPDF化し、町HPへ最新情報を掲載。	

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>②求人情報紙が届いたら速やかにHPに掲載し、道の駅や町関係施設等にも設置依頼をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>②求人情報紙が届いたら速やかにHPに掲載し、道の駅や町関係施設等にも設置依頼をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>②求人情報紙が届いたら速やかにHPに掲載し、道の駅や町関係施設等にも設置依頼をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>②求人情報紙が届いたら速やかにHPに掲載し、道の駅や町関係施設等にも設置依頼をしている。</p>	<p>②引き続き迅速な事務処理を心がけ就職情報提供につながるように努める。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 引き続き町のHPの充実に努めていくことを望む。	HPの掲載については迅速な処理に心がけ求職者に最新情報を届けられるように努めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 就職情報の提供のほか、プラスアルファの何かを検討してみてもどうか。	迅速に最新情報の提供ができるよう進め、求人情報だけではなく、求職支援セミナーなどの情報も周知できるように努めていきたい。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みたい住み続けたい環境の充実		
施策	住み続ける町への躍進	進捗状況	100%		
KPI	年間出生数（暦年：1～12月）	本年度目標値	184人	現状値	112人（1～12月）
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①子育て応援手当の支給時期を6月にする方向で準備。 （今年度より年長児3万円、小6児5万円） ②ファミリーサポートセンターのましこココハウス移行を検討。 ③結婚新生活支援補助金の要綱改正。 ④結婚新生活支援補助金ホームページ掲載。 保育所等ましこ里山手帳の必要数調査。		
	5月	①子育て応援手当の前年度の反省、今年度の実施方法の検討。 ②子ども子育て支援拠点施設の機能充実。 ③婚活支援事業の見直し、検討。 ④情報発信事業の検討。	①子育て応援手当の発送準備。1910世帯、3332人、4468万円。 ②ファミリーサポートセンター事業実施要綱改正。 ③結婚相談員推薦。新規3名。 ④子育て応援手当ホームページ掲載。 子育て支援ガイドブックについては保育料無償化が安定してから作成を検討する。		
	6月		①子育て応援手当支給（1519件、2782人、3821万円） ②一周年記念イベントの検討、決定。 ③社会福祉協議会婚活イベント開催、男15女14人参加、カップル4組 夜間結婚相談（6/21） ④結婚新生活支援補助金住民課窓口配布。 夜間結婚相談お知らせ版掲載、ポスター掲示。		
	7月		①子育て応援手当支給（227件、339人、409万円） ②一周年記念イベント開催（222人） ③益子町結婚相談員情報交換会の開催（7/17） ④結婚新生活支援補助金制度自治会回覧		
	8月	①子育て応援手当の申請受付。 ②子ども子育て支援拠点施設の機能、事業の充実。 ③婚活イベント事業の業務委託。 ④ホームページ活用の見直し。	①子育て応援手当支給（61件、72人、76万円） ②夏休みイベント実施、8月利用者数1,083人 ③芳賀地方広域結婚相談員情報交換会に参加（8/30） ④保育所等ホームページの更新		
	9月		①子育て応援手当支給（48件、69人、81万円） ②世代間交流イベント実施、9月利用者数798人 ③商工会婚活イベント開催、男女各10人参加、カップル3組 夜間結婚相談（9/20） ④結婚相談員の紹介（広報紙）保育料無償化保護者説明会（9/20） ファミリーサポートセンターPR（町HP、お知らせ版）		
	10月		①子育て応援手当支給（5件、7人、7万円） ②赤十字幼児安全法講習会の開催（ファミリーサポート会員へも通知） ③結婚相談員活動継続 ④保育園・認定こども園HP更新（保育料）		
	11月	①子育て応援手当の申請終了。 ②子ども子育て支援拠点施設の機能、事業の充実。 ③婚活イベント事業の見直し、検討。 ④情報の再発信。	①子育て応援手当支給（1件、1人、1万円） ②ファミサポ事前打ち合わせ ③結婚相談員活動継続 ④保育園・認定こども園HP更新（利用定員）		
	12月		①子育て応援手当未申請者ハガキ通知発送（48通） 手当支給（22件、28人、28万円）1件2人6万円追加予定 年間計（1883件、3298人、4423万円）支給率98.6% ②ファミサポ利用、クリスマスイベント開催 ③夜間結婚相談（12/20）、婚活イベント相談 ④結婚新生活支援補助金PR（ポスター、お知らせ版）		
	1月		①子育て応援手当支給（1件2人6万円） 年間計（1884件、3300人、4429万円）、98.6% ②ましこココハウス手形アート企画実施（月1回） ③結婚新生活支援事業実施計画作成 ④子育て応援手当アンケート結果HP掲載		
	2月	①子育て応援手当の申請終了、地域通貨精算。 ②子ども子育て支援拠点施設の機能、事業の充実。 ③婚活イベント事業の業務委託。 ④子育てガイドブックの検討。	②ましこココハウス益子の雛めぐり参加、親子ヨガ打ち合わせ ③婚活イベント中止（2/23）		
	3月		①子育て応援手当地域通貨精算 ②ましこココハウス新型コロナウイルス対策臨時休校による小学生自主学習受入：3/10～3/24（3名）、親子ヨガ中止（3/13） ③結婚相談員意見交換会中止（3/16）、夜間結婚相談中止（3/27） ④ましこココハウス新型コロナウイルス対策HP掲載		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①子育て応援手当を児童手当現況届と同時に実施したことで、効率的に支給できた。しかし、添付書類の誤り等も見られたので職員に受付方法の周知徹底を図る必要がある。 ②ファミリーサポートセンターの利用が新年度になってから1件もないので、ましこココハウスの状況も見ながらPRに努めたい。 ③夜間結婚相談は1件。次回9月に向けてPRする。 ④子育て応援手当申請の際に、アンケートが活用されているのか疑問視する方がいた。アンケート結果の情報発信が必要か。</p>	<p>①未受給者へ申請を促す。 ②一周年イベントの実施。ファミリーサポートセンターのPR。 ③次回のポスターを制作し、庁舎内や金融機関等に掲示を依頼する。 ④アンケートを集計し、編集してホームページ掲載を検討する。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①9月に集中的にPRしたが、未申請あり(55件、70人、81万円)。 ②ファミリーサポートセンターの利用がない。別の周知方法を検討した。 ③夜間結婚相談は1件。次回12月に向けてPRする。 ④保育料無償化の保護者説明会の参加者は少なく、混乱はない様子。</p>	<p>①(締切後も)引き続き申請受付する。 ②ファミリーサポートセンター会員へ通知する。 ③次回のポスターを制作し、庁舎内や金融機関等に掲示を依頼する。 ④保育料無償化情報も含めた新しいガイドブックを検討する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①未申請者26人(転出者除く)については、辞退とみなす。 ②ましこココハウスの新年度事業を検討した。 ③夜間結婚相談は2件。うち1件は婚活イベントの相談。婚活イベントの方法を検討したい。 ④子育てガイドブックについて検討。HPの点検整理が必要。</p>	<p>①地域通貨を精算する。 ②他市町の子育て支援拠点施設を視察し、イベントの成功例を学ぶ。 ③夜間結婚相談のPR。婚活イベントの実施(委託)。 ④子ども子育て支援事業計画(案)のパブリックコメント実施。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①地域通貨精算(43万円分返還) ②ましこココハウスの清掃消毒を当日中に実施するよう変更を検討(コロナウイルス対策) ③意見交換会ができなかったが、夜間結婚相談に来られた方のその後の対応について検討が必要である ④議員からも子育てガイドブックの必要性を指摘、早急に検討したい。</p>	<p>①次年度も子育て応援手当を6月の児童手当現況届とあわせて実施する。 ②当分の間、開館時間を9:00~16:00とし、夕方消毒をする。ましこココハウスの令和運営形態の方向性を決定する。ファミリーサポートセンターの新規提供会員を募集する。 ③夜間結婚相談に来られた方のカップリングができるようイベント等の実施について検討する。 ④次期総合計画と子ども子育て支援事業計画に沿った子育て支援策を周知する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	②ファミリーサポートセンターのましこココハウスへの移行は、ましこココハウスを利用している方の登録・利用が期待でき、土日の受付も可能になるので改善点と考えている。利用に結び付けたい。
	第2四半期	②意見・提言 ファミリーサポートセンターがましこココハウスに移行したことにより、利用者への周知が進んでいくと思われる。 子育て応援手当が年々充実してきているため良いと思う。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①年長児、小6児期の増額支給を残す方向で、支給額の見直しを検討したい。 ②ましこココハウスを通常運営に戻し、利用者数の回復を図る。ファミリーサポートセンターの提供会員を増やし、センターをPRするための土台を固める。 ③とちぎ未来クラブの事業を活用したい。夜間結婚相談などの相談者にハッピーポケットやとちぎ結婚支援センターを紹介したり、入会金を補助するなどの方法も検討したい。 ④子育てガイドブックの作成準備を始める。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 新型コロナウイルスの影響で色々な事業が滞ってしまっている感じは否めない。次年度への継続につなげて欲しい。（2名） ファミリーサポートセンターの有効活用のため、PRの強化、工夫が必要と思われる。	

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	90%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	38箇所	現状値	36箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①②環境森林担当課長会議出席 ①②森林・山村多面的機能発揮対策事業説明会出席 ①②益子花の会総会出席 ①②とちぎ森林管理推進協議会県東地域連絡会議出席		
	5月	①②里山林整備に向けた整備箇所の把握 ①②整備箇所等の地元合意形成状況の把握 ④前沢町有林整備の検討	①②とちぎの元気な森づくり市町村交付金交付申請 ①②森林行政担当者会議出席 ①②西山里山の会下刈り作業参加 ①②益子花の会下刈り作業参加 ①②林地開発防災パトロール参加		
	6月		①②あじさい会下刈り作業参加 ①②ましこの森下刈り作業参加 ①②とちぎ森林管理推進協議会県東地域連絡会出席 ④サルスベリ苗等植栽（前沢町有林） ④前沢町有林維持管理業務設計積算		
	7月		①②県東地域連絡協議会研修会出席 ④入札の実施（町有林）34.3ha ④林道生田目線駐車場除草作業実施		
	8月	①②整備箇所に係る設計書の作成 ①②整備箇所に係る協定書の締結 ④前沢町有林の遊歩道の延長等の検討	①②森林経営管理制度研修会出席 ④業務委託契約の締結（町有林）34.3ha		
	9月		①②森林経営管理制度打合せ出席 ①②とちぎ森林管理推進協議会及び研修会出席 ①②ましこの森下刈り作業参加 ④業務委託契約の締結（町有林）34.3ha		
	10月		①②県東地域連絡協議会研修会出席（10/9、10/29） ①②活動組織へ交付金の配布（益子里山の会）		
	11月	①②整備箇所の入札の実施及び業務委託の締結 ①②活動組織へ交付金の配布 ④前沢町有林の遊歩道の延長等の検討	④業務委託に係る確認検査（町有林）34.3ha		
	12月		①②県東地域連絡協議会出席 ①②活動組織へ交付金の配布（風戸自治会） ①②ましこの森下刈り参加 ①②アカマツ復活プロジェクト間伐作業実施		
	1月		①②活動組織へ交付金の配布（西明寺自治会）		
	2月	①②業務委託に係る確認検査等 ①②交付金の確認検査及び県へ交付申請	①②活動組織へ交付金の配布（3地区） ①②アカマツ復活プロジェクト植栽作業		
	3月		①②県東地域連絡会議出席 ①②活動組織へ交付金の支払手続き（6地区） 県東環境森林事務所への事業完了報告		

	<p>③担当課の点検・検証 〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①② 令和元年度においては里山林の整備分6.6ha整備し、交付金の支払いによる地元管理分64.5haを予定している。新規整備については、地権者、整備団体、町による協定の締結を要するため、スムーズに締結できるよう支援していく必要がある。また地元管理が1年目の活動組織については交付金の管理や活動内容などの面できめ細かな支援することが不可欠である。</p>	<p>①② 里山林整備事業にあたっては町有林も含め効率的に事業を進めていくことが重要である。現地の状況を的確に把握して業務委託をすすめていく。また、整備が完了し地元管理となった箇所については下草刈など良好な管理がされているかなどを確認し、不備な箇所があれば地元管理団体に対して助言等をし支援していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①② 令和元年度の整備地区である大平地区について、整備箇所を地元関係者と調整を行っている状況である。地権者及び地元住民との連携を密にして事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④ 里山林整備事業にあたって令和2年度新たな整備に向けて、新規活動組織の発掘をすることが必要である。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法について認識してもらうことが必要である。町有林整備については前沢町有林の遊歩道についても検討していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>①② 町有林の維持管理事業及び活動組織の一部で事業が完了した。事業完了後も地権者及び地元住民との連携を密にして管理事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④里山林整備事業全般については、新規活動希望組織に対して地元の合意形成ができるよう住民に対しての説明が必要になる。また特に本年度新たに管理団体となった活動組織に対しては、活動、管理状況の把握や交付金の活用方法について認識してもらうよう改めての働きかけが必要である。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①②地権者及び地元住民との連携を密にして管理事業を進めて行くことが重要である。</p>	<p>①②④ 里山林整備事業にあたって今年度新規で活動を予定したが、できなくなってしまった組織に対して、地元の合意形成ができるよう協力していく。さらに新規に事業開始を希望する団体から相談を受けているため、併せて地元の合意形成ができるよう協力していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	里山林整備事業にあたっては、活動組織の合意形成が必要となるので次年度についても各組織に適切な説明をして事業の進捗を図る。また今年度下半期は新たに森林環境譲与税事業が開始されるので併せて活用していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	里山林整備事業にあたっては、活動組織の合意形成が必要となるので次年度についても各組織に適切な説明をして事業の進捗を図る。また新たに森林環境譲与税事業が開始されたので併せて有効活用を図っていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 豊かな自然景観も益子の魅力の一つであるので、今後も年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	

		課局名	農政課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	38箇所	現状値	36箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月		③前年度事業内容の確認検査の実施 20組織 10日間		
	5月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言	③5/27農地水多面的機能保全推進協議会総会 ③5/27環境保全広域協定運営委員会総会		
	6月		③6/11営農ビジョン策定会議(大平地区) ③6/13多面的機能保全推進協議会新任者研修会 ③6/27多面的機能保全活動制度変更説明会 ③6/25営農ビジョン策定会議(里西地区)		
	7月		③7/4営農ビジョン策定会議(星の宮地区) ③7/29営農ビジョン策定会議(大平地区)		
	8月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言			
	9月		③9/30営農ビジョン策定打合せ(里西・星の宮地区)		
	10月		③多面営農ビジョンワークショップ研修会(10/7) ③多面的機能支払交付金広域運営委員会(10/31) 会議では各組織への農道工事配分額や、災害予算配分額を検討し決定した。		
	11月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言 10/1～11 執行状況確認中間検査	③農地水モデル事業準備 栃木県コンクリート協会から無償で新製品(防草法面パネル)を受けることとなったため、当製品を使用したモデル施工に関し、各組織と話し合いを行なった。		
	12月		③多面的機能支払交付金中間検査(県協議会) 12/17 ③農業用施設長寿命化事業設計書作成 年明け発注に向け、農道整備工事の設計書を作成した。		
	1月		③農業用施設長寿命化事業工事入札(1/28) 落札件数 8件		
	2月	③多面的機能支払交付金取組組織への指導助言	③営農ビジョン説明会 埴環境保全会		
	3月		③農業用施設長寿命化事業工事検査(8件) 営農ビジョン打合せ 里西・星の宮・大平環境保全会 補助金確認検査		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③多面的機能支払交付金事業(長寿命化事業)の制度変更があり、工事費1件当たりの上限が200万円及び道水路同一路線の継続施工の禁止事項が新たに設定された。</p>	<p>③変更内容を各組織に周知する。今年度から営農ビジョンの策定を行う。(大平・里西・星の宮)</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③営農ビジョンの策定に加え、人・農地プランの実質化に取り組む必要があるため、人・農地プランとの連携が求められる。</p>	<p>③今後の営農ビジョン及び人・農地プランにおける策定計画の作成や、合同での策定会議を行うなどし、活動組織の負担軽減を目指す。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③10月12日の台風19号により、農道や水路の法面崩壊等、50箇所を超える被害に見舞われた。町、土地改良区、多面事務局の職員が連携し、災害の規模や場所により、復旧工事の分担を行なった。</p>	<p>③基本的に大規模被災は、町が国庫補助の災害復旧事業で対応する。農道についても町が事業主体となる。土地改良区域内の水路については、改良区が事業主体となる。小規模災害については、極力多面的機能支払交付金事業の各組織が、運営委員会により割り当てられた予算の中で対応する方針となった。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③新型コロナウイルス感染症の影響により埴環境保全会の営農ビジョン作成が思うように進まなかった。地域の問題点を正確に把握する必要がある。</p>	<p>③今後4年以内に、16組織の営農ビジョンを計画的に策定していく。農家の方だけでなく、非農家の方も多数取り込んで、農業視点にこだわらず、観光、環境、文化、教育等含め総合的な視野で作って行く。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 営農ビジョンの策定により、地域ごとの活動に期待したい。	営農ビジョン策定の過程をとおり、町民のまちづくりへの機運を高めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	豊かな自然景観の形成と身近な生活空間の整備	進捗状況	100%		
KPI	里山整備実施箇所数（累計）	本年度目標値	38箇所	現状値	36箇所
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	⑤花のまちづくり事業 小宅古墳群 桜・菜の花祭り 4月 マリーゴールド育苗作業 12,000株 4月中旬～ ひまわり祭りの準備 4月下旬～ 小宅古墳群看板撤去 40枚 5月 ひまわり祭り農地転用許可申請 5月 第1回ひまわりサミット会議 5月 小宅古墳群テント撤去 5月 コスモス祭り実行委員会の開催 6月 マリーゴールド苗配布・植栽 6月 大規模ひまわり畑 播種作業 6月	小宅古墳群来場者 10,260名 小宅古墳群準備作業3/31 トイレ4基 テント4張 机20 仮70脚 案内看板40枚 その他看板30枚 旗50枚 ポスター30枚 小宅古墳群 HP2日に1度更新 マリーゴールド仮植作業12,000株 4/18		
	5月		小宅古墳群看板撤去 40枚 4/26 第1回ひまわりサミット担当者会議 5/10 小宅古墳群テント・テーブル・イス撤去 5/18		
	6月		第1回コスモス祭り実行委員会 6/22 第1回ひまわり祭り実行委員会 6/29 ひまわり祭り臨時駐車場の確保を検討。 ひまわり・コスモス祭りの出店増加の検討。 ひまわり播種作業6/16～6/19		
	7月	⑤花のまちづくり事業 ひまわり間引き作業 7月 コスモス祭り農地転用許可申請 7月 ひまわり祭り道路占用許可申請 6月（真岡土木事務所） ひまわり祭り職員割当業務各課依頼 7月 ひまわり祭りオープニングイベント打合せ（出演者） 露天開設届け（消防）7月 臨時出店届け（保健所）8月 ひまわり祭り臨時駐車場（つくば益子バイパス）借用届け（真岡土木事務所） 7月 会場設営打合せ（石塚土建・下野アド）7月 野木町ひまわりフェスティバル 7/26（金） ひまわり祭り準備作業 ひまわり祭りの実施（8/10～8/18） 上三川町ひまわり祭り 8/23（金） コスモス祭り町職員協力依頼 9月 コスモス祭り実行委員会開催 9月	ひまわり間引き作業 7/9 職員13名 5ha 野木町ひまわりオープニング 7/26 職員4名		
	8月		コスモス播種作業 8/1～3 10ha ひまわり祭り 8/10～18（9日間）来場者46,865名 上三川町ひまわり祭り参加 8/23		
	9月		9/25 ビオラ播種作業 14,000株 9/14コスモス祭り実行委員会 生田目公民館 職員2名出席 9/27コスモス祭り看板設置		
	10月	⑤花のまちづくり事業 コスモス祭り道路占用許可申請 9月（真岡土木事務所） コスモス祭りオープニングイベント打合せ（出演者） 露天開設届け（消防） 9月 臨時出店届け（保健所） 9月 会場設営打合せ（石塚土建・下野アド） 9月 コスモス祭り準備作業 10月 コスモス祭りの実施（10/5～20） コスモス祭り夜祭り 10月19日 ビオラ苗配布・植栽業務	10/2 コスモス祭りビックテント 仮設トイレ設置 10/5 コスモス祭りオープニング コスモスマつり10/5～10 来場者数 9,751名		
	11月		11月下旬 ビオラの苗を公共施設・幼保・学校へ配布する。約8,400株		
	12月		-		
	1月	⑤花のまちづくり事業 第2回ひまわりサミット 担当者会議 マリーゴールド播種作業 3月 実行委員会の開催 3月 小宅古墳群 桜・菜の花祭りの準備 3月	1/24 第2回ひまわりサミット 担当者会議		
	2月		-		
	3月		3/5 菜の花・桜祭り会場準備 3/17 菜の花・桜祭り会場周辺看板設置 3/24 マリーゴールド播種作業14000株		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>イベント期間中の出店数の増加。 来場者の増加により、町職員、地元による交通整理は危険である。</p>	<p>ひまわり・コスモスともに各実行委員会（地元との会議）の中で、業者を入れるか地元（育成会等）での出店を増やすか協議する必要がある。 予算の範囲内で、警備会社に交通整理を一部依頼予定。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>今年度は梅雨明けが遅く、オープニングまでに開花した花は少なかったのためか全体の来場者が少なかった。しかし、祭後半には、過去最高の出来栄と声をいただくほど見事にひまわりが咲いた。 また、毎年課題になっていた、会場入り口の誘導について、警備会社に依頼し警備員を配置し例年以上に誘導がスムーズにできた。 また、本年度から無料バスを運行し渋滞緩和した。</p>	<p>準備、期間中に熱中症を発症してしまった。職員の対応では厳しい点もあり、来年度も警備会社に依頼を検討する。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>コスモス祭りの検証について 例年になく花の状況が良かったが、台風の被害をうけ、期間途中で中止となった。 毎年課題になっていた、会場入り口の誘導について、警備会社に依頼し警備員を配置し例年以上に誘導がスムーズにできた。</p>	<p>祭りを盛り上げるために、業者を入れるか地元（育成会等）での出店を増やすか協議する必要がある。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>・小宅 桜菜の花まつり 3月下旬に開花が進み、また写真撮影用の額縁・ブランコを設置した。若者の来客者の多くは写真撮影が目的で花畑に来ている。 菜の花・桜だけでなく、ひまわり・コスモスについても、撮影スポットがあること、及び開花状況の周知をすることで、より多くの来客者が見込める。</p>	<p>コロナの影響で規模を縮小した。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	気候により、播種の時期は前後するが、計画に沿ったスケジュールで花のまちづくりを進めていき、広報PR活動も引き続き行っていく。
	第2四半期	②意見・提言 花の開花は天候に左右されるため、開花時期の調整の難しさが理解できた。 来場者数をもみても、町内外にもこのイベントが拡大していることが窺える。同時に、職員の苦労も推察されるところである。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	気候により、播種の時期は前後するが、計画に沿ったスケジュールで花のまちづくりを進めていき、広報PR活動も引き続き行っていく。 小宅の菜の花・桜祭り、新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小して開催したが、前年度以上の来場者がきた。ひまわり祭り、コスモス祭りは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 小宅古墳群の桜・菜の花祭りは、桜と菜の花の対比が見事で癒された。準備の皆様のご苦労をお察しします。 新型コロナウイルスの影響があるので、ひまわり祭りが開催できるか心配である。 毎年来場者も増加しており、楽しみにしている方が多いと思われるため、継続が望ましい。	

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	自然エネルギーの利用拡大と省エネルギーの普及啓発	進捗状況	100%		
KPI	エネルギー自給率	本年度目標値	28.0%	現状値	56.7% (H30末)
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			③町H/P等で掲載済 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定	
	5月			③広報ましこ・おしらせ版で掲載済 ③住宅用蓄電池設置費補助金2件の交付決定	
	6月			②壬生町にバイオマス発電所建設の情報あり	
	7月			③住宅用蓄電池設置費補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定	
	8月			③住宅用太陽光発電システム補助金4件の交付決定 ③住宅用蓄電池設置費補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定	
	9月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付決定 ③住宅用蓄電池設置費補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定	
	10月	③補助金の交付決定、確定及び支払い ②再生可能エネルギー普及に向けての情報等の収集検討 ①産学官の連携のための情報収集			
	11月			③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金2件の交付決定	
	12月			③住宅用太陽光発電システム補助金2件の交付決定 ③住宅用蓄電池設置費補助金1件の交付決定 ③住宅用木質バイオマスストーブ設置費補助金2件の交付決定	
	1月			②太陽光発電システム補助金について、見直しを検討した。 ③住宅用蓄電池設置費補助金2件の交付決定	
	2月			③住宅用太陽光発電システム補助金1件の交付決定 ③住宅用蓄電池設置費補助金2件の交付決定	
	3月			③住宅用太陽光発電システム補助金4件の交付決定 ③住宅用蓄電池設置費補助金1件の交付決定	

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③太陽熱利用システムについては、2年間申請が無かったことから平成30年度で終了した。新たに太陽光発電システム関連で住宅用蓄電池の補助を開始した。今後木質バイオマスストーブ設置補助と併せて、広報ましこをはじめPRの機会がある度に、広く町民に浸透されていく必要がある。 ③太陽光発電の出力増加分(kw)実績 平成26年度 一般住宅分335kw 平成27年度 一般住宅分153kw 平成28年度 一般住宅分128kw 平成29年度 一般住宅分81kw 平成30年度 一般住宅分49kw</p>	<p>③太陽光発電システムについては従来から実施してきた補助制度であり、町民に相当浸透していると思われるが、定置型蓄電池、木質バイオマスストーブについては、広報ましこ・パンフレット等での更なるPRや、イベントや会議等でPRをして町民に対して広く浸透を図る。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③令和元年9月末時点で太陽光発電システム4件、蓄電池5件、木質バイオマスストーブ4件の補助金の交付決定をしている。木質バイオマスストーブについては前年度並みの実績であるが、太陽光発電システムについては、減少傾向にある。新規事業の蓄電池については、予定件数の50%である。</p>	<p>③太陽光発電システム、木質バイオマスストーブについては、広報ましこ等を活用してさらなるPRをし町民に対して広く浸透を図っていく。 ①②再生可能エネルギー普及についての県内市町の状況及び産学官連携先進事例の情報収集についても引き続き進めていく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③令和元年12月末時点で太陽光発電システム7件、蓄電池6件、木質バイオマスストーブ5件の補助金の交付決定をしている。木質バイオマスストーブについては前年度並みの実績であるが、太陽光発電システムについては、減少傾向にある。新規事業の蓄電池については、予定件数の60%の状況である。</p>	<p>③太陽光発電システム、木質バイオマスストーブについては、参加団体の協力を頂き町民祭で展示PRをしたが、今後もPR方法を検討をして町民に対して広く浸透を図る。 ②ペレット関連の情報集も努めていきたい</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③令和元年度末で太陽光発電システム11件、蓄電池設置11件、木質バイオマスストーブ5件で、太陽光発電システム、木質バイオマスストーブについては、前年度とほぼ同数であった。新たに始めた蓄電池設置費補助については、予定数より多い実績であった。</p>	<p>③電力会社の買取価格の低減等が発表されていることから、新たに電気自動車等充電システム(V2H)の補助を追加する。 ②再生可能エネルギーについての近隣市町村との情報交換も引き続き進めていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	太陽光発電蓄電池補助、木質バイオマスストーブ補助について広報、イベント、会議等でPRを図っていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 再生可能エネルギーの普及、啓発は今後も継続が必要である。	メガソーラー設置については県の指導指針に沿った対応をしていく。太陽光発電システム設置住宅の蓄電池設置補助に加え、V2H設置補助を新設する。木質バイオマスストーブについては広報、イベント、会議等でPRを図る。自然エネルギー活用については近隣市町連携や更なる情報収集を進めていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	環境課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	住みよい持続可能なましこの創生		
施策	ごみの資源化・減量化の推進	進捗状況	95%		
KPI	1人1日あたりの家庭系ごみ排出量	本年度目標値	250g	現状値	421g(R1)
KPI	ごみの分別リサイクル率	本年度目標値	46.0%	現状値	28.1%(R1)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①前年度第四半期資源物回収奨励金の交付 回収量：174 t、交付件数：65件、交付金額：1,268,870円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 23 t（全33 t） 小型家電回収量 1.7 t 廃食用油回収量：0.18 t エコ土曜日（資源物回収）：1.6 t ③不法投棄防止看板 1本設置(下大羽)		
	5月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系22 t（全32 t） 小型家電回収量 1.1 t 廃食用油回収量：0.16 t エコ土曜日（資源物回収）：1.8 t		
	6月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系19 t（全29 t） 廃食用油回収量：0.22 t 小型家電回収：1.3 t エコ土曜日（資源物回収）：1.9 t ③不法投棄防止看板 1本設置(小宅) 不法投棄監視カメラ貸出1件(友愛作業所) 不法投棄監視カメラ設置2台(矢井田) 環境美化運動実施(6/2) ゴミステーション設置補助(小泉)		
	7月		①第1半期資源物回収奨励金の交付 回収量：190 t、交付件数：67件、交付金額：1,383,550円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 ②25 t（全34 t） 廃食用油回収量：0.18 t エコ土曜日（資源物回収）：2.8 t		
	8月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系 26 t（全36 t） 小型家電回収量 2.6 t 廃食用油回収量：0.2 t エコ土曜日（資源物回収）：2 t ③不法投棄防止看板 1本設置(サヤド)		
	9月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系 21 t（全31 t） 廃食用油回収量：0.18 t エコ土曜日（資源物回収）：2 t		
	10月		①第2半期資源物回収奨励金の交付 回収量：161 t、交付件数：66件、交付金額：1,178,050円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 21 t（全31 t） 廃食用油回収量：0.3 t 小型家電回収量 0.9 t		
	11月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系 20 t（全31 t） 小型家電回収量 1.9 t 廃食用油回収量：0.1 t エコ土曜日（資源物回収）：3.8 t 益子町民まつりでフードドライブ実施 251点 134kg分の食品を回収 生ごみ処理機貸出事業開始 貸出件数 1件		
	12月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系22t(全)33t 廃食用油回収量：0.1 t 生ごみ処理機貸出事業開始 貸出件数 2件 エコ土曜日（資源物回収）：2.5 t		
	1月		①第3半期資源物回収奨励金の交付 回収量：163 t、交付件数：69件、交付金額：1,201,220円 ②生ごみ処理事業回収量：家庭系 22 t（全31 t） 廃食用油回収量：0.1 t 小型家電回収量 1.7 t エコ土曜日（資源物回収）：2.8 t ③不法投棄看板設置1本(大和田)		
	2月	①資源物回収団体への奨励金交付、及び資源物ステーション設置補助。 ②生ごみ処理事業、及び使用済小型家電、食用廃油回収実施。 ③地域の環境美化運動支援、及び不法投棄看板の設置。	②生ごみ処理事業回収量：家庭系 17 t（全25 t） 廃食用油回収量：0.2 t 小型家電回収量 1.1 t エコ土曜日（資源物回収）1.8 t		
	3月		②生ごみ処理事業回収量：家庭系 21 t（全29 t） 廃食用油回収量：0.1 t		

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①資源物回収はH30年度において732tの回収実績があり、町の資源化量の50%を占める有効な手段である。今後も自治会や育成会にとって、資源物回収がいかかにメリットがあるか情報を与えて、取り組みやすい環境を作っていくことが重要である。また自治会・育成会の回収の拠点となっているゴミステーションの設置・改修には積極的に補助金などで支援をしていきたい。</p> <p>②生ごみの家庭系は、減少傾向にあるが、事業系については昨年の事業者への勧奨の成果が現れ増加傾向にある。家庭に向けて地道なPRを継続するとともに、まとまった排出量が期待できる事業者に対しては訪問して粘り強く勧奨していきたい。</p> <p>③常習的な不法投棄に苦慮している各自治会に対して監視カメラの貸出を行い、不法投棄防止の支援を行った。</p>	<p>①事業を実施した団体がどれだけ収入があったかを具体的に会議で周知を図るとともに、自治会や育成会に個別勧奨も行い事業実施の後押しを積極的に行っていきたい。</p> <p>②生分解性の袋の強度については共和化工㈱にさらなる改善を依頼した。今年度は、生ごみ堆肥化事業のPR及び、協力者の増加を図るため生ごみ専用袋の外袋のマシコットマーク10枚と地域通貨500円を交換できる「生ごみ堆肥化リサイクル還元事業」（生ごみリサイクルマシコット）を8月より開始する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①資源物回収は、昨年同時期と比較し回収量は減少しているものの、住民に浸透した事業と言える。</p> <p>②専用袋のマシコットマークを集めマシと交換できる「生ごみリサイクルマシコットマーク事業」を開始した。ゴミ減量のために手間のかかる生ごみ専用袋を使用している住民へのインセンティブを与えることにより、生ごみ堆肥化事業を推進し、事業のPRを図る。生ごみ専用袋のPR動画を作成、公開した。使いつらいと言われていた専用袋の具体的な使い方を動画でわかりやすく紹介し生ごみ堆肥化事業の推進を図る。</p> <p>小型家電、エコ土曜日の資源物回収はPRの効果が現れ前年度の実績を大きく上回っている。広報やHPの掲載だけでなく、イベントでのちらし配布などの住民への直接的なPRが成果を上げたと言える。今後のPRにも活用したい。</p>	<p>①今後は資源物回収で、ごみ処理にかかる芳賀広域分担金の負担がどのくらい軽減されているかを広報に掲載していきたい。</p> <p>②「生ごみリサイクルマシコットマーク事業」の「生ごみ専用袋PR動画」周知に努める。特に転入者に無料で配布している専用袋にQRコード付きのチラシを配布するなどして、多くの住民の目に留まるよう工夫を考えていきたい。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①資源物回収は前年同期と比較し約12t減少しているが、自治会や育成会の活動資金源として定着しているところも多いことから、引き続き事業を推進していきたい。</p> <p>②食品ロスを削減するため、益子町民まつりでフードドライブを実施し、回収した食品はNPOフードバンクうつのみやに寄付することができた。PRのためチラシをスーパーの店頭で配布することにより、住民に対して事業のPRはもとよりゴミ削減に対する理解を深めることができた。生ごみ処理機貸出事業は、機械式生ごみ処理機の購入に迷っている方に対し、実際に使用した効果を実感していただき購入に繋げることを目的とする。生ごみ処理機は高価なため購入に躊躇する方が多いが、使用するとその便利さに手放せない方も多く貸出事業の効果を期待したい。</p>	<p>②生ごみ処理機貸出事業、生ごみ堆肥化リサイクル還元事業については、広報や店頭などでの周知を図りたい。</p> <p>フードドライブは、住民の関心も高いため継続して実施していきたい。</p> <p>寄付先については益子町社会福祉協議会と調整して益子町内に還元できるよう検討を進める。小型家電回収事業については、次年度より処理料・運搬料が発生することから費用対効果を考慮し年6回に変更する予定。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①資源物回収は前年同期と比較して減少しているが、益子町で実施している様々なリサイクルの中で大きな割合を占めることから、継続して事業を推進していきたい。</p> <p>②エコ土曜日・小型家電の回収については利便性が高く住民からも好評な事業であり、広く認知され回収量が増加している。また家電の不法投棄も減少しており、環境保全にも効果のある事業である。また同事業の実施日に回収している廃油も前年より回収量が増加している。</p>	<p>①自治会、育成会の貴重な資金源となっている資源物回収だが、中国の輸入規制の影響により紙の売却価格が大幅に下降しているため、各団体の事業実施のモチベーションへの影響が懸念される。紙のみの回収をしている団体には、回収品目の追加を提言していきたい。</p> <p>②小型家電については次年度よりプラスチック処分料の高騰により、運搬費や処分費が有償になる。そのため次年度はエコ土曜日とともに回収頻度を減らし、偶数月の回収とする。今後もメリット・デメリットのバランスを精査し、事業内容について検討していきたい。生ごみ処理事業では、処理単価の見直しを行い次年度より20円/kgから15円/kgに変更する。焼却との費用対効果を比較していきたい。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	エコ土曜日については前年度を上回る資源物が集まってきているところだが、新たな環境対策については、コスト面や効果を総合的に判断し財政や住民に負担のない対策であれば検討していきたい。今後の方針としては、現在実施している事業の周知を徹底していきたい。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	エコ土曜日については、2カ月に一度とはなったが、利用者も多く定着してきたのではないかと思われる。引き続きHPや広報等でのPRに努めていきたい。 ごみの処理の方法について、HPや広報等を通じて理解しやすい内容で発信し、ごみの分別等にご協力いただきごみの減量化につながるよう努めていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 エコ土曜日・小型家電の回収が2カ月に一度となるが、これからの取り組みがどうなるか注目したい。 ごみ処理に関しての情報を町民に分かりやすく開示しつつ、町民の意識向上を促すよう継続していただきたい。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康寿命の推定値（男性）※前後3カ年平均	本年度目標値	80.0歳	現状値	79.5歳（H29）
KPI	健康寿命の推定値（女性）※前後3カ年平均	本年度目標値	85.0歳	現状値	84.1歳（H29）
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	28.0%	現状値	80%
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		①【健幸ポイント】 11名 ②今年度の「健康デー」案内を全戸配布。 健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、55名参加。うち初回利用は6名。栄養相談の中で個別運動指導を5名実施。運動指導士による集団運動指導「骨盤底筋を鍛える（姫トレ）」を実施。ましこっと体操の普及啓発にむけ、教室開催の準備をする。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	5月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。	①【健幸ポイント】 11名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、46名参加。うち初回利用は3名。栄養相談の中で個別運動指導を6名実施。ましこっと体操の普及啓発にむけ、教室開催の準備をする。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	6月		①【健幸ポイント】 16名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、68名参加。うち初回利用は8名。栄養相談の中で個別運動指導を5名実施。運動指導士による集団運動指導「骨盤底筋を鍛える2」を実施。運動の習慣化を目指した「ましこっと体操」の普及啓発に向けて検討中。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	7月		①【健幸ポイント】 21名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、68名参加。うち初回利用は18名。栄養相談の中で個別運動指導を6名実施。運動指導士による集団運動指導「体幹！タオルを使ってトレーニング」を実施。ましこっと体操の普及啓発にむけ、教室開催の準備をする。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	8月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。	①【健幸ポイント】 7名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、57名参加。うち初回利用は4名。栄養相談の中で個別運動指導を6名実施。ましこっと体操の普及啓発にむけ、教室開催の準備をする。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	9月		①【健幸ポイント】 11名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、65名参加。うち初回利用は5名。栄養相談の中で個別運動指導を6名実施。集団運動指導「下肢の筋力アップ」を実施。ましこっと体操の普及啓発にむけ、教室開催の準備をする。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	10月		①【健幸ポイント】 7名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、65名参加。うち初回利用は3名。栄養相談の中で個別運動指導を3名実施。集団運動指導「体幹トレーニング ブランク」を実施。ましこっと体操の普及啓発にむけ、教室開催の準備をする。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	11月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。	①【健幸ポイント】 17名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、54名参加。うち初回利用は4名。栄養相談の中で個別運動指導を4名実施。集団運動指導「内臓のストレッチ」を実施。考案者でもある運動指導士の指導の下、「ましこっと体操普及教室」を2回開催。11/5昼の部は34名、11/6の夜の部は6名の参加があった。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	12月		①【健幸ポイント】 8名 ②健康デーにおいて、体組成計測定を実施し、75名参加。うち初回利用は9名。栄養相談の中で個別運動指導を6名実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	1月		①【健幸ポイント】 11名 ②健康デーにおいて、体組成計を実施し、67名参加。うち初回利用は7名。個別運動指導及び保健指導6名実施。集団運動指導を実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	2月	①健幸ポイント、健幸サポーターの推進。 ②運動教室の実施計画および体組成計の普及啓発。 ③⑤健康教室・健康まつり等各種健康づくり事業等を通し、ウォーキングコースやサイクリングロードを紹介していく。	①【健幸ポイント】 8名 ②健康デーにおいて、体組成計を実施し、71名参加。うち初回利用は2名。個別運動指導及び保健指導9名実施。集団運動指導「姿勢改善・肩こり解消体操」を実施。 ③⑤健康デーにおいてウォーキングコースやサイクリングロードを紹介。		
	3月		①【健幸ポイント】 1名 ②健康デーは、集団での実施となるため、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止とした。個別での対応のみ実施し、個別運動指導及び保健指導5名実施。		

	<p>③担当課の点検・検証 〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>①第1四半期で計38名の新規参加者があり、計626名の参加者となった。今後、健診受診後の参加者も見込まれる。 ②③⑤運動を通して健康づくりの推進に努める。昨年度から町民の健康づくりをサポートするために毎月第3火曜日を「健康デー」とし、普及啓発している。4月に「健康デー」案内を全戸配布した。具体的な内容として、体組成計測定、栄養相談、健幸ポイント事業、集団栄養教育（年3回）、集団運動指導（年9回）を実施予定。ほか健康増進法の改正に伴い、禁煙教育の導入も視野に検討する。</p>	<p>①引き続き参加勧奨を実施していく。 ②事業内容等を充実させ、より効果的な展開方法を検討し、引き続き実施する。ましこっと体操が完成したので、運動教室等に取り入れていく。 ③⑤ウォーキングコース等の紹介は、引き続き健康デーにおいて実施していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>①第2四半期で計39名の新規参加者があり、計665名の参加者となった。今後、健診受診後の参加者も見込まれる。 ②③⑤運動を通して健康づくりの推進に努める。健康デー新規利用の方が多くみられる。受け入れ体制の充実と利用頻度についても検討していきたい。ほか健康増進法の改正に伴い、禁煙教育の導入も視野に検討する。</p>	<p>①引き続き参加勧奨を実施していく。 ②事業内容等を充実させ、内容の充実を図り、引き続き実施する。ましこっと体操が完成したので、運動教室等に取り入れていく。 ③⑤ウォーキングコース等の紹介は、引き続き健康デーにおいて実施していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>②③⑤「健康デー」は継続者と新規者が混在し、利用者数は増加傾向にある。効果的な利用に向け「健康デー」の利用頻度について検討していきたい。</p>	<p>①引き続き参加勧奨を実施していく。 ②事業内容等を充実させ、内容の充実を図り、引き続き実施する。ましこっと体操が完成したので、運動教室等に取り入れていく。 ③⑤ウォーキングコース等の紹介は、引き続き健康デーにおいて実施していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>①健康ポイント参加者へ今年度末で714人である。今年度の利用者状況を見ると、新規者数は断続的に得られ、また利用者数も右肩上がりである。計測担当スタッフを増員し対応しているが、体組成計が1台のため、今後対応が困難になることも考えられる。そのため、測定に希望性を導入し、また体組成の結果への変化は、数カ月要することから、2～3か月ごとの測定を引き続き勧めしていく。</p>	<p>①ましぼカードの活用を考えつつ次年度も引き続き参加勧奨を実施していく。 ②事業内容を充実させ、より効果的な方法を検討しつつ、引き続き実施していく。運動体験メニューや喫煙対策についても併せて普及啓発に注力していく。 ③⑤ウォーキングコース等の紹介は、引き続き健康デーにおいて実施していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	ましこっと体操は、運動習慣の定着に向けて、出前講座、DVDの貸し出し、YOUTUBE等の活用により、引き続き普及に努めていく。出前講座・DVDの貸し出しについては、関係者に呼びかけて紹介できるよう努めていく。 健幸ポイントは、広報誌や保健事業を通して紹介し、新規加入者の増加に努める。
	第2四半期	②意見・提言 健康長寿に向けた取組として、「ましこっと体操」を各自治会や高齢者サロンなどで実施してはどうか。また、YOUTUBEも活用してはどうか。 健幸ポイントについて、より一層の説明を進め、制度の周知を図りたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き、運動を通じた健康づくりの普及啓発に努めてい
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 継続的に健康デーに参加し、体組成計の測定を実施した方が右肩上がりに増加しているとのことだが、健康意識をより高めるため、「健康まつり」以外の他の集会にも機材を持ち込み、測定を実施してはどうか。 始まったばかりなので、今後の取り組みを検討していただきたい。 ましぼカードの効果的な活用により、さらに活動が充実することを期待している。18歳以上を対象としているのであれば、色々な世代が参加できる日程の設定が必要と思われる。	

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康寿命の推定値（男性）※前後3カ年平均	本年度目標値	80.0歳	現状値	79.5歳（H29）
KPI	健康寿命の推定値（女性）※前後3カ年平均	本年度目標値	85.0歳	現状値	84.1歳（H29）
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	28.0%	現状値	17.9%(H30)
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	①健幸ポイント周知	①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	5月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	6月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	7月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	8月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	9月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	10月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	11月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	12月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	1月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	2月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		
	3月		①予防教室・運動教室等において健幸ポイントを周知・説明		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①町民へ健幸ポイントについて説明できるよう健康福祉課と情報共有する。</p>	<p>①今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	今後も引き続き予防教室・運動教室等において健幸ポイントの周知・説明を行う。身体機能の維持向上については、高齢者の集まる場において、知識の普及を行っていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 健康・長寿ましこづくりの推進として、次年度はフレイル予防が大きな課題になると思われる。 健幸ポイントの周知・説明以外のアプローチの仕方について検討の余地があると思われる。	

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せ感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	運動を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	健康寿命の推定値（男性）※前後3カ年平均	本年度目標値	80.0歳	現状値	79.5歳（H29）
KPI	健康寿命の推定値（女性）※前後3カ年平均	本年度目標値	85.0歳	現状値	84.1歳（H29）
KPI	18歳以上の運動習慣者の割合	本年度目標値	28.0%	現状値	17.9%(H30)
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			④新年度における会員申込受付（継続・新規）の支援を行った。 ④クラブ運営委員会にて運営の検討(4/14)現在加入者455名 ④4月上旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。	
	5月	④ましこチャレンジクラブ（総合型スポーツクラブ）の参加者を増やすための運営事務及び広報活動等の支援		④新年度における会員申込受付（継続・新規）の支援を行った。 ④クラブ総会に参加し、事業報告や計画、予算等について説明を受けクラブ運営について再確認した。(5/18) ④5月下旬お知らせ版にて、会員募集について掲載した。	
	6月			④クラブ運営委員会にて運営の検討(6/11)現在加入者510名 ④6月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び体操教室のPRについて掲載した。	
	7月			④クラブ運営委員会にて運営の検討(7/9)現在加入者525名 ④7月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	8月	④ましこチャレンジクラブ（総合型スポーツクラブ）の参加者を増やすための運営事務及び広報活動等の支援		④クラブ運営委員会にて運営の検討(8/6)現在加入者527名 ④8月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	9月			④クラブ運営委員会にて運営の検討(9/10)現在加入者527名 ④9月上旬お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	10月			④クラブ運営委員会にて運営の検討(10/7)現在加入者543名 ④10月下旬お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	11月	④ましこチャレンジクラブ（総合型スポーツクラブ）の参加者を増やすための運営事務及び広報活動等の支援		④クラブ運営委員会にて運営の検討(11/12)現在加入者572名 ④11月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	12月			④クラブ運営委員会にて運営の検討(12/10)現在加入者580名 ④12月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	1月			④クラブ運営委員会にて運営の検討(1/7)現在加入者583名 ④1月上・下半期お知らせ版にて、会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	2月	④ましこチャレンジクラブ（総合型スポーツクラブ）の参加者を増やすための運営事務及び広報活動等の支援		④クラブ運営委員会にて運営の検討(2/10)現在加入者585名 ④2月上・下半期お知らせ版にて、新年度会員募集及び教室のPRについて掲載した。	
	3月			④クラブ運営委員会はコロナウイルス感染予防のため3月は未開催。3/24現在加入者586名 ④3月上・下半期お知らせ版にて、新年度会員募集及び教室のPRについて掲載した。下半期では裏面全てを使用して、全教室の紹介をした。	

	<p>③担当課の点検・検証 〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。クラブ事務局員が変わったため、運営がスムーズに進むよう事務的な支援は随時行っている。 6/11時点で510名の加入であり、前年度の6月(490名)と比べて、微増の状況である。今後、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。 9/10時点で527名の加入であり、前年度の9月(527名)と比べて、同数の状況である。今後、継続及び新規加入者の確保のため、さらなる広報活動が必要である。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④クラブ運営委員会に参加し、クラブ運営や事業の検討を密に行っている。 12/10時点で580名の加入であり、前年度の12月(587名)と比べて、ほぼ横ばいの状況である。今後、さらに継続及び新規加入者の確保のため、継続して広報活動が必要である。</p>	<p>④町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、参加者加入を促すよう努めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④町広報誌を利用して、チャレンジクラブ会員募集を毎回掲載したことで、住民の方々が目にする機会が増え認知度が上がってきていると思われる。しかし、掲載スペースに限りがあるため、入会金紹介が主になってしまった。 クラブ運営委員会の内容を把握し、随時、クラブ運営がスムーズに進むよう支援を行ってきた。 会員数は586名であり、毎月、微少なながらも増加してきた。昨年同時期587名と比較して、ほぼ同数である。現在の会員が、来期も加入するよう周知していきたい。</p>	<p>町広報誌を利用して、興味が持てるような記事を掲載し、現在の加入者及び新規の方々の加入促進に努めたい。 Toto助成金が年後の2022年度から打ち切りになるため、クラブの方向性を検討する必要がある。また、クラブが存続できるよう、町からの支援方法を検討する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き年間計画に基づき、事業を進めていく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	引き続き年間計画に基づき、事業を進めていく。 Toto助成金打切りの2022年に備えて、今後の方向性、運営方法や町からの支援等について、計画的に進めるよう運営委員会で検討していきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 運動習慣をつくるきっかけとして必要であるため、今後も年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。 2022年度からToto助成金が打ち切りになることも踏まえ、見直していく必要がある。	

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	食事を通した健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	メタボリックシンドローム該当者の割合	本年度目標値	14.3%	現状値	20.3%(R1)
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.2%	現状値	11.1%(R1)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な取組内容	4月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（57名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、保健指導を実施。集団運動指導「骨盤底筋を鍛える（姫トレ）」を実施。健康セミナー「慢性腎臓病予防教室」を実施。第1回4/24 18名。第2回4/25 17名。当初、定員15名・2回の実施計画であったが、申し込みが多数であったため、第3回を5月に計画。		
	5月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するために、小中学生の現状把握をするために実施した「食に関する調査」の準備・実施。 ②「健康レシピ」の募集にむけて準備。 ④郷土料理教室開催、普及に向けて計画立案。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（46名参加）。集団栄養指導「酢を活用した減塩料理」を実施。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。第3回健康セミナー「慢性腎臓病予防教室」を5/9に追加実施、17名受講。		
	6月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（68名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、保健指導を実施。集団運動指導「骨盤底筋を鍛える②」を実施。①食生活改善推進員勉強会「フレイル予防料理教室」を実施。①子どもたちの現状把握をし、より効果的な食育推進をするために「食に関する調査」を実施。①広報ましこに食育に関する記事を掲載。		
	7月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（68名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。集団運動指導「体幹！タオルを使ってトレーニング」を実施。①「食に関する調査」の結果を集計。④郷土料理教室を開催（26組53名参加）		
	8月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するために、小中学生の現状把握をするために実施した「食に関する調査」の結果を集計。 ②「健康レシピ」の募集にむけ食育推進会議を開催、8月から募集中。 ④郷土料理教室を開催。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（57名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。集団栄養指導「食生活改善による肥満の解消について」を実施。①「食に関する調査」の結果を集計・分析。①②健康レシピを募集 テーマ「美味しい減塩料理」		
	9月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（65名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。集団運動指導「下肢の筋力アップ」を実施。①食生活改善推進員勉強会「ストレッチ教室」を実施。①「食に関する調査」の結果を分析。①②健康レシピを募集 テーマ「美味しい減塩料理」①広報ましこに災害時の食に関する記事を掲載。		
	10月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（65名参加）。その中で、個別栄養相談（3名実施）、保健指導を実施。集団運動指導「体幹トレーニング プランク」を実施。①「食に関する調査」の結果を分析。①②健康レシピを募集 テーマ「美味しい減塩料理」④食生活改善推進員勉強会「かんびょう料理」を実施。		
	11月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進のため、計画検討及び実施。 ①より効果的な食育を推進するために、小中学生の現状把握をするために実施した「食に関する調査」の結果を分析。 ②「健康レシピ」を10月末まで募集し、審査した。 ④健康まつり等のイベントで郷土料理を普及。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（54名参加）。その中で、個別栄養相談（4名実施）、保健指導を実施。集団運動指導「内臓のストレッチ」を実施。①「食に関する調査」の結果を分析。①②健康レシピを審査。①③駅伝大会にて、適切な塩分量の豚汁を作り減塩を推進した（豚汁800食）。①③④健康まつりにて、1日3食食べることの大切さ、適切な野菜摂取量、栃木の郷土料理紹介を行い町民に周知するとともに、「かんびょう料理」の試食提供を行った。		
	12月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（75名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。集団栄養指導「郷土料理を食べよう！」を実施し、天然だしの推進や「かんびょう料理」の試食提供を行った。①「食に関する調査」の結果を分析。①②健康レシピの普及方法について検討。		
	1月		①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（67名参加）。その中で、個別栄養相談（6名実施）、保健指導を実施。集団運動指導を実施。①「食に関する調査」結果を分析。①②健康レシピの普及方法について道の駅と調整。③食生活改善推進員勉強会「益子食材料理教室」を開催。		
	2月	①③健康相談・教室の開催、広報等の活用により、生活習慣病の発症・重症化予防、食育推進を推進。 ①より効果的な食育を推進するために、小中学生の現状把握をするために実施した「食に関する調査」の結果を食育推進会議で公表。 ①②③④「健康レシピ」を道の駅ましこにて普及。	①②③④計画検討及び実施。 ①③適正な食生活・適正体重の普及のため、健康デーを月1回実施（71名参加）。その中で、個別栄養相談（5名実施）、保健指導を実施。集団運動指導を実施。①「食に関する調査」結果について、食育推進会議で公表。①②③④道の駅ましこにて健康レシピ（食育推進会議推薦レシピ：10分のできるしもつかれ）300食の試食を提供。①食生活改善推進員勉強会「テーブルセッティング」を開催。		
	3月		①②③④実施。 ①③④健康デーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、個別栄養相談・保健指導のみ（5名）実施。		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>①③食習慣及び生活習慣の改善により、引き続き生活習慣病・メタボの予防改善に努める。特定保健指導や個別栄養相談の機会を活かし、生活習慣病予防への意識改革や行動変容につながるよう努める。昨年度から町民の健康づくりをサポートするために栄養相談日を「健康デー」とし、普及啓発している。4月に「健康デー」案内を全戸配布した。具体的な内容として、栄養相談、体組成計測定、健幸ポイント事業、集団栄養教育(年3回)、集団運動指導(年9回)を実施予定。ほか健康増進法の改正に伴い、禁煙教育の導入も視野に検討する。②「健康レシピ」の募集素案を作成し、食育推進委員へ送付。7月に会議を開催予定。④教室の内容について検討を行い、7月に開催予定。</p>	<p>①②③④事業内容を充実させ、より効果的な展開方法を検討しつつ、引き続き実施する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>①③「健康デー」は、継続利用される方に加え、毎回新規の方がいる状況であり、町民の総利用者は増加している。集団の健康教育も毎回好評である。②食育推進会議を開催し、素案が承認され、「健康レシピ」の募集を開始。募集期間は、8月から10月末まで。④親子を対象に、郷土料理教室を開催。</p>	<p>①②③④事業内容を充実させ、より効果的な展開方法を検討しつつ、引き続き実施する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>①③「健康デー」の利用者は12月に75名と総利用者数は増加し続けており、計測の励み頻度等について検討する必要がある。②「健康レシピ」の応募数は3点と少なく、健康レシピとして普及する該当作品はなし。④各種イベントで、郷土料理を普及。</p>	<p>①③④事業内容を充実させ、より効果的な展開方法を検討しつつ、引き続き実施する。②食育推進会議推薦の「健康レシピ」として、普及できるものがないか検討中。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>①③「健康デー」体組成計測定については、P26【運動】と同様。個別栄養相談は予約が埋まる状況のため、引き続き栄養士2名体制で実施する。②「健康レシピ」は、公募ではなく食育推進会議推薦「健康レシピ」として道の駅ましここと連携していく。</p>	<p>①②③④「健康レシピ」については、③野菜摂取量増加④郷土料理普及の視点もふまえて普及啓発していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての 次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	今後も備蓄の必要性や災害時の簡単料理等について広報や事業等で広く町民に周知していきたい。
	第2 四半期	②意見・提言 広報ましこ9月号に災害時の食に関する記事が掲載された後に10月の台風19号の被害があり、他市町村の被害の甚大さに驚かされた。益子町における災害の備蓄の状況や食の工夫なども取り上げていただきたい。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	引き続き、職を通した健康づくりの啓発普及に努めていく。
	第4 四半期	②意見・提言 総括 食事を通した健康に対する町民の意識をより高めていくため、継続すべきである。	

		課局名	農政課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	健康・長寿ましこづくりの推進		
施策	食事を通じた健康づくりの推進	進捗状況	100%		
KPI	メタボリックシンドローム該当者の割合	本年度目標値	14.3%	現状値	20.3% (R1)
KPI	メタボリックシンドローム予備軍の割合	本年度目標値	10.2%	現状値	11.1% (R1)
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画 (スケジュール・工程)		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		③施設運営者となる(株)ましこカンパニーと指定管理者制度に基づく施設の管理運営協定を締結した。施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	5月	③道の駅の施設運営者と業務仕様及び協定書に基づき、施設の管理運営協定を締結する。 ③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。	③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	6月		③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	7月		③道の駅において地元農産物の販売や食の提供を行なった。 ギフトカタログを作成し、試食会を行なうなどし、地場農産物の情報発信に努めた。		
	8月	③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。	③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	9月		③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	10月		③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	11月	③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。	③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	12月		③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。 年末商機に向けた地元産品 (蕎麦、もち、チキン) の斡旋実施。		
	1月		③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。 地元産品 (大寒たまご、恵方巻き) の斡旋実施。		
	2月	③施設運営者が、安全・安心な地元野菜に関する情報の発信、提供を行う。	③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		
	3月		③施設運営者が、地元農産物の販売や食の提供を行うとともにHP・チラシ等により情報発信を行なった。		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>③指定管理者が、業務仕様等に基づき適正に業務を行っている。</p>	<p>③食に関する情報発信や農産品の提供については適切に実施されているが、より充実した情報提供等を行うよう適宜指導していく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>③指定管理者が、業務仕様等に基づき適正に業務を行っている。</p>	<p>③地元農産品の提供による食の情報発信については適切に実施されており、今後もより充実した情報提供等を行うよう適宜指導していく。 健康・長寿づくりに関しては農政部門での十分な効果発現は難しいと思われるので、内容の修正、所管の見直し等を検討いただきたい。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>③指定管理者が、業務仕様等に基づき適正に業務を行っている。</p>	<p>③食の情報提供に関しては継続して指導していく。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>③指定管理者が、業務仕様等に基づき適正に業務を行っている。</p>	<p>③健康・長寿づくりに関しては農政分野での施策の実施、効果の発現は困難であることから、内容の修正、所管の見直しを行う必要がある。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	年間計画に沿った事業運営を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	K P Iの数値を達成するための効果の発現は困難であるが、食の提供という分野から、間接的に健康・長寿づくりのサポートを継続していきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 効果が見込めないようなので、施策の実施内容の見直しが必要と思われる。	

		課局名	企画課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	280人	現状値	342人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主 な 取 組 内 容	4月		③デマンド運行（利用実績1,216人）		
	5月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,202人）		
	6月		③地域公共交通会議（第1回会議 6/24）を開催し、H30決算報告及び生活交通確保維持改善計画について審議した。 ③デマンド運行（利用実績1,398人） ※第1四半期における対前年比 14人減		
	7月		③デマンド運行（利用実績1,463人）		
	8月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,415人）		
	9月		③デマンド運行（利用実績1,363人） *上半期実績 8,057人（前年度比 340人増）		
	10月		③デマンド運行（利用実績1,438人）		
	11月	③デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績1,280人）		
	12月		③デマンド運行（利用実績 1, 346人） 利用累計 R元年12月累計 12, 129人 （前年同期比 582人の増） 登録者数は3, 332人（前年同期比122人の増）		
	1月		③デマンド運行（利用実績 1, 144人） ③地域公共交通会議（第2回会議・書面決議）		
	2月	デマンドタクシー「ひまわり号」運行及び関連業務	③デマンド運行（利用実績 1, 156人）		
	3月		③地域公共交通会議（第3回会議・書面決議）を実施 ③デマンド運行（利用実績 1, 032人） 令和元年度利用者累計 15, 453人（前年比493人増） 登録者数は3, 365人（第4四半期から33人の増）		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>③第1四半期におけるデマンドタクシーの利用実績は、昨年同期と比較して微減となっている。これは、改元に伴い4～5月の祝日が長期となったため、運休日が増加したためと考える。なお6月の利用者数は前年よりも増加しており、今後は利用者が伸びていくものと推測される。</p>	<p>前年同期で利用者数は微減したが、次期四半期は祝日が例年どおりのため、利用者数は自然復調するものと予測している。 なお、次期四半期においては、真岡市にある北山駅への乗り入れについて申請を行い、公共交通機関における乗り継ぎ連携の充実を図っていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>③デマンドタクシーの利用状況については、全体として前年対比で増加しているため良好である。高齢化社会において重要性、必要性が高まるものと考えられるためPRに努め、より一層の利用者増加を図っていききたい。なお、益子町に近接する真岡市の北山駅への乗り入れについては、乗り入れが可能となったため、利用促進と公共交通機関における乗り継ぎ連携の充実が図られたと考える。</p>	<p>③デマンドタクシーの効率的な運行をめざし、利用者の更なる増加を図るため広報ましこ等による制度のPRを行っていく。また、デマンドタクシーのみならず、基幹軸としての真岡鉄道や民間バスとの連携を強化し公共交通網の充実を進め、町民の生活圏の拡大を図っていく。なお、真岡市にある北山駅への乗り入れについては、調整を行い陸運支局に届け出をし10月1日乗り入れ開始となった。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>③例年、寒い時期になるため利用者は第2四半期から比べると微減している。 全体としては前年比で増加しているため、まずまずの結果と考えている。高齢化社会においてデマンドタクシーは、今後益々重要性、必要性が向上していくものと考えられるため、PRに努め、より一層の利用者増加を図っていききたい。</p>	<p>③引き続きデマンドタクシーのPRを行うとともに、運行委託業者と連絡調整を図りながら、利用者へのサービス向上と運行に係る収支率の改善に努めていく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>③年々、デマンドタクシー利用者が増加していることから、高齢者をはじめ交通弱者の新たな移動手段として、これからも利用者が伸びていくものと考えられる。</p>	<p>③利用希望としては、町内においては、乗り継ぎの利便性向上や12時の時間帯での運行、町外にあっては、町外施設(芳賀日赤)への乗り入れなどがある。費用対効果やデマンド以外の公共交通全体のあり方を総合的に判断していく必要がある。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	利用希望者へのわかりやすい説明に努め、事業を継続していく。
	第2四半期	②意見・提言 デマンドタクシーの有効利用について、わかりやすい説明により更なる周知を図っていただきたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・4委員 改善・見直し・・・1委員 廃止・終了・・・なし	③デマンドタクシーは、町内の交通空白地をカバーする公共交通として町内全域を運行している。利用者も年々増加しており、特に高齢者にとっては有効な交通手段となっている。運行時間の見直しについては運転ドライバーの確保等の問題が生じ、また運行範囲の見直しにおいてもドライバー確保と大幅な費用負担増の問題が生じる。また、別の公共交通である真岡鐵道との併存や認可等の問題もあるため、実現への課題は大きいものがある。今後の検討課題としていきたい。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 利用者のニーズもあることから、運行時間・運行範囲の見直しを検討していただきたい。	

		課局名	高齢者支援課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	280人	現状値	342人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	4/2健康講話（ましこの里） 4/3星の宮サロン2周年記念行事 4/9ましこの里サロン総会 4/11ふれあいサロン推進事業補助金交付（ましこの里） 4/12ふれあいサロン推進事業補助金交付（星の宮） 4/16新町サロン総会 4/23野外研修（ましこの里） 4/24ふれあいサロン推進事業補助金交付（いちご） 4/26ふれあいサロン推進事業補助金交付（アップル）		
	5月		5/15健康講話（星の宮サロン）		
	6月		6/10サロンボランティア研修 6/11ふれあいサロン推進事業補助金交付（新町） 6/25健康講話（新町サロン） 6/27健康講話（アップルサロン）		
	7月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	7/19新規サロン会場準備 新規サロン（あぐり）ボランティア募集 もの忘れ予防教室参加者募集		
	8月		もの忘れ予防教室参加者募集		
	9月		もの忘れ予防教室9/3 9/10 9/17 9/24 介護予防教室野外研修9/15 新規サロン（あぐり）打合せ9/25		
	10月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	もの忘れ予防教室10/1 10/8 10/15 10/29 介護予防教室野外研修10/3 10/11 10/18 運動教室10/23 10/30 新規サロン（あぐり）打合せ10/17 10/21 新規サロン（あぐり）オープン10/24		
	11月		もの忘れ予防教室11/5 11/12 11/19 11/26 介護予防教室野外研修11/15 運動教室11/6 11/13 11/20		
	12月		もの忘れ予防教室12/3 12/10 12/17 12/24 運動教室12/4 12/11 12/18		
	1月	ふれあいサロン推進事業補助金交付 ふれあいサロン活動支援	自主教室支援（もの忘れ予防）1/7 1/14 自主教室支援（運動）1/15 1/27		
	2月		2/25健康講話（ましこの里） 教室中止のお知らせ（各教室・サロン）		
	3月		コロナウィルスに関するの通知（各サロン）		

	<p>③担当課の点検・検証 〔 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。 〕</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>6月末サロン・教室参加実人数291名（うちサロン121名、介護予防教室89名、自主教室81名） サロン参加者数は増加している。介護予防教室については高齢に伴い介護サービスに移行する方もおり参加者数が減少している。サロンボランティアについては運営する上で困っていることについてアンケートを実施し、より良い運営方法が見いだせるよう研修をおこなった。</p>	<p>サロンのボランティアの研修を実施したところ、サロン同士の交流ができたため、今後の運営に生かすことができると好評であった。各サロンで共通する問題については、解決策まで見出すことが出来なかったため再度研修を実施していく。また安定したサロンの運営ができるよう相談・支援をおこなっていく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>9月末サロン・教室参加実人数305名（うちサロン118名、介護予防教室90名、もの忘れ予防教室16名、自主教室81名） 参加者数は、辞める方もいるが新規加入もあり、増加している。サロンの運営については、ボランティア研修を実施したことにより他のサロンとの交流が図れ活動の参考になっている。また新規サロンについては、ボランティアを募集するとともに開設に向けての準備を行った。</p>	<p>参加者数は増加している。新規サロンについて、ボランティアと開設にむけて相談を実施した。今後はボランティア主体でサロン運営が行えるよう支援を継続していく。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>12月末サロン・教室参加実人数318名（うちサロン124名、介護予防教室93名、もの忘れ予防教室16名、自主教室85名） 参加者数は、辞める方もいるが新規加入もあり、増加している。サロンの運営については、ボランティア研修を実施したことにより他のサロンとの交流が図れ活動の参考になっている。また新規サロンについては、ボランティアを募集し、10月下旬に開設した。</p>	<p>参加者数は増加している。あぐり館にてサロンがオープンし、ボランティアによる運営が順調に行っている。また教室については、自主的な活動をおこなえるよう支援を行った。今後も参加者が増えるよう周知していく。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>3月末サロン・教室参加実人数342名（うちサロン123名、介護予防教室94名、自主教室125名） 新規の自主教室が増え参加者数は、増加している。自主活動が継続して行えるよう相談や支援を行った。3月からコロナウィルス感染予防のため、教室やサロンの自粛をしている。会場が広く換気がおこなえるサロン等については、感染予防方法について周知し、内容の見直しをした上で4月から実施可能と周知した。</p>	<p>サロンについては、ボランティアが各会員に対してコロナウィルスによる活動休止や変更の連絡調整を行った。ボランティア中心で活動が行えている。コロナウィルス感染予防のため休止しているサロン等もあり、他者との交流がない生活を送る高齢者がいる可能性がある。休止の状態が続くと身体機能や気力の低下がおきると考えられるため、手紙や電話等での関わりも検討していきたい。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	今後もボランティアと協力しながら、地域での居場所の一つであるサロンや教室、介護予防を視点とした活動を充実させていく。より多くの参加者が集えるよう、周知にも力を入れていきたい。
	第2 四半期	②意見・提言 サロン・教室への参加者数の増加が、超高齢化社会を迎えるカギとなると思われる。より一層の補助や援助が必要ではないか。 高齢者の生きがいづくりについて、協働により進めて行くべき。	
総括 （下半期も含む）	第3 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	コロナウイルス感染症予防対策をしながら、今後もサロンの増設を進めていく。また通いの場の存在を知らない方も多いため周知に力を入れていく。男性の利用者については、麻雀サロンが盛況のため1つの内容に特化したサロンを今後も検討していきたい。
	総括 （第4 四半期も含む）	②意見・提言 高齢者に向けて、より多くサロンの増設を望む。 参加者も増加し、活気がある教室もあるようだ。楽しみにしている姿を目にすることもあるので今後も期待したい。 男性の参加人数はどのように考えているか、参加に結びつかない高齢者への対応も検討していただきたい。	

		課局名	学校教育課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる		だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいがづくりの推進と障がい者支援の充実	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	280人	現状値	342人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月				
	5月	⑤七井小：全校生が高齢者とのふれあい除草活動。 ⑤田野中・七井中学校2年生がマイ・チャレンジ社会体験活動事業で、高齢者との交流活動。 ⑤七井小：5年生が特別支援学校との交流活動。 ⑤七井中：1年生が益子支援学校との交流活動。 ⑤各小中学校：総合的な学習の時間に、高齢者福祉や障害者福祉について体験活動。		⑤5/8 益子特別支援学校との交流活動を実施。（七井小5年生53人） ⑤5/24 高齢者とふれあい除草活動（七井小全学年337人）	
	6月			⑤6/5 益子特別支援学校との交流活動を実施。（七井中1年生60人） ⑤6/12 益子特別支援学校との交流活動を実施。（七井小6年生58人） ⑤6/19～21 七井中2年生マイ・チャレンジ社会体験活動事業交流活動。七井老人ホームへ参加。 ⑤6/18 総合的な学習の時間で、「福祉・介護のお仕事」出前講座（益子西小4年生:44名） ⑤6/24 総合的な学習の時間で、社会福祉協議会をとおして、高齢者講話。車イス、白杖について学習。（田野小3年生:50名）	
	7月			⑤7/5 総合的な学習の時間で、社会福祉協議会をとおして、高齢者講話。車イス、白杖について学習。（益子西小4年生:44名）	
	8月	⑤田野小・益子小：運動会で高齢者を招き、ふれあい種目を共同。 ⑤益子中：運動会で高齢者介護施設入居者を招待し、接待や介助協力。 ⑤田野中・益子中・七井中：中学生の町ボランティアスクールへの参加体験の周知。 ⑤益子西小：総合的な学習の時間で、友愛作業所・高齢者教室との交流活動。		⑤8/2 中学生の町ボランティアスクールへの参加：（田野中2名・益子中2名・七井中4名） ⑤8/5・6 中学生の町ボランティアスクールへの参加：光輝舎（田野中3名・益子中1名・七井中3名） ⑤8/7～9 中学生の町ボランティアスクールへの参加：多機能ホームまじこの里星の宮（田野中1名・益子中4名・七井中3名）	
	9月			⑤9/7 運動会で高齢者介護施設入居者を招待し、接待や介助協力実施。（益子中） ⑤9/15 運動会で高齢者を招き、ふれあい種目を実施。（田野小・益子小）	
	10月			⑤10/3 益子特別支援学校見学実施（七井小3年生） ⑤10/4 総合的な学習の時間で、高齢者及び障害者との交流活動実施。ましこの里ほしのみや・友愛作業所（益子西小4年生） ⑤10/31 生活科で、地域の高齢者を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（七井小1年生）	
	11月	⑤田野小：総合的な学習で、高齢者にワークショップ形式の講話。 ⑤益子小：低学年の生活科で高齢者を招き、ふれあい学習。 ⑤七井小：3年生が特別支援学校の見学の実施。4年生が特別支援学校との交流活動。 ⑤益子中：2年生がマイ・チャレンジ社会体験活動での介護体験活動。		⑤11/20 生活科で、祖父母を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（益子小1・2年生） ⑤11/21 益子特別支援学校との交流及び協働学習（七井小4年生） ⑤11/12～11/14 マイチャレンジ推進事業実施 菊池病院（益子中2年生）	
	12月				
	1月			⑤1/30 生活科で、祖父母を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（益子西小 1年生）	
	2月	⑤田野小・益子西小：1年生の生活科で高齢者を招き、ふれあい学習の実施。 ⑤七井小：1年生の生活科で、交流活動。		⑤2/6 生活科で、祖父母を招き、ふれあい学習（昔遊び）実施。（田野小 1年生）	
	3月				

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉) 福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 社会の問題を見つけよう ～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉) 福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 社会の問題を見つけよう ～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉) 福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 社会の問題を見つけよう ～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>各学校の福祉教育計画に従い、実施することができた。</p>	<p>総合的な学習の時間のテーマとして、田野小3年生「(福祉) 福祉について考えよう」、益子小6年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 今、わたしにできること」、益子西小4年生「(福祉)福祉について学ぼう」、七井小4年生「(福祉)自分、そして身の回りを見つめて」、田野中3年生「(地域・環境・福祉・国際理解) 社会の問題を見つけよう ～国際(日本の文化)・福祉・環境について解決策を提案する」を取り上げている。調査活動等で施設訪問や施設利用者との交流活動を行えるよう、支援する。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
第1 四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	関係機関との連携をし、年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を行い、福祉教育を充実したい。
総括（下半期も含む）	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	②意見・提言 高齢者、障がい者、児童、生徒の相互理解を深めるため、継続が必要である。	次年度も、高齢者、障がい者、児童、生徒の相互理解を深めるため、各学校の福祉教育を総合的な学習の時間や生活科、学校行事等において、計画的に実施できるよう、支援に努めます。
総括（第4 四半期も含む）			

		課局名	生涯学習課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	だれもがいきいきと生活できる環境の充実		
施策	高齢者の生きがいづくりの推進と障がい者支援の	進捗状況	100%		
KPI	介護予防教室及び高齢者サロンの参加者実人数	本年度目標値	280人	現状値	342人
KPI		本年度目標値		現状値	
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取 組 内 容	4月		開催計画の作成		
	5月	④高齢者講師の暮らしに役立つ講座 年間講座のプランニング作成 講座の開催	開催計画の作成		
	6月		広報ましこお知らせ版7月上半期（6/30発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（ゲートボール）		
	7月		広報ましこお知らせ版7月下半期（7/14発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（ゲートボール） 7/12、26ゲートボール教室		
	8月	④講座の実施	広報ましこお知らせ版9月上半期（8/25発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（いけ花）		
	9月		広報ましこお知らせ版9月下半期（9/15発行）10月上半期（9/29発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（民話・山ゆり・いけ花・中国結び） 9/28初心者いけ花教室8名		
	10月		広報ましこお知らせ版10月下半期（10/13発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（ラジオ体操） 10/29ラジオ体操教室2名（新規）		
	11月	④講座の実施	-		
	12月		広報ましこお知らせ版1月上半期（12/29発行）いきいき講座主催講座参加者募集掲載（百人一首）		
	1月		1/19百人一首教室2名（新規）		
	2月	未実施	-		
	3月		-		

	③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。	④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点
第1 四半期	高齢者の生きがいにもなることから、継続して進める。	広報お知らせ版やホームページ等で幅広く周知していく。
第2 四半期	参加者が少ない講座がある。	魅力のある講座を開設し、高齢者の生きがいになるようにすすめていく。
第3 四半期	参加者が少ない講座がある。	魅力のある講座を開設し、高齢者の生きがいになるようにすすめていく。
第4 四半期	新規講座「百人一首」を開催したが参加者が少なかった。	魅力ある講座の開催のための掘り起こしが必要である。

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	計画的な事業運営を行う
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・3委員 改善・見直し・・・2委員 廃止・終了・・・なし	魅力のある講座を開設し、高齢者の生きがいになるようにすすめていく。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 参加人数が増えないことから、改善・見直しが必要かと思われる。。	

		課局名	総務課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	53件	現状値	68件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	17件	現状値	17件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		②特殊詐欺注意喚起メール 3回 ④交通安全教室 12回 1946人 免許返納 4人		
	5月	②防犯灯設置 防犯パトロール講習会の実施 特殊詐欺等注意喚起 ③防災講演会実施 ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②特殊詐欺注意喚起メール 1回 ③5/22 気象台職員による防災講演会実施 警戒レベルチラシ 回覧 ④交通安全教室 高齢者 2回 60人、学生 22回 368人 免許返納 3人 子ども自転車大会指導 郡大会 優勝		
	6月		②特殊詐欺注意喚起メール 1回 ③栃木県作成 警戒レベルチラシ 全戸配布 ④交通安全教室 高齢者 1回 35人、学生 22回 1073人 免許返納 17人 子ども自転車大会指導 県大会 3位		
	7月		②特殊詐欺注意喚起メール 3回 防犯灯設置 8基（蛍光灯→LED） ④交通安全教室 学生 11回 457人 免許返納 8人		
	8月	②防犯灯設置 特殊詐欺等注意喚起 ③自主防災組織立上サポート ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②特殊詐欺注意喚起メール 1回 防犯灯設置 7基（蛍光灯→LED：5、新規2） ③防災訓練自治会長説明会開催 ④交通安全教室 高齢者1回 40人、学生 4回 210人 免許返納 1人		
	9月		②防犯灯設置 8基（蛍光灯→LED：5、新規3） ③新町地区防災計画策定会議 1回 ④交通安全教室 高齢者3回 100人、学生 4回 289人 免許返納 3人		
	10月		②特殊詐欺注意喚起メール 1回 防犯灯設置 15基（蛍光灯→LED：4、新規1、修理10） ③防災訓練実施 新町地区防災計画策定会議 1回 自主防災組織立上サポート（山王・リパティ） ④交通安全教室 学生 6回 652人 免許返納 9人		
	11月	②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 ③自主防災組織立上サポート 防災訓練の実施 ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②防犯灯設置 6基（蛍光灯→LED：5、新規1） 青色防犯パトロール実施 ③新町地区防災計画策定会議 2回 防災講習会実施（上大羽） 自主防災組織立上サポート（山王・リパティ） ④交通安全教室 高齢者3回 90人、学生 7回 649人 免許返納 5人		
	12月		②特殊詐欺注意喚起メール 1回 特殊詐欺対策電話機補助金施行 防犯灯設置 4基（蛍光灯→LED：3、修理1） 青色防犯パトロール実施 ③自主防災組織立上サポート（山王・リパティ） ④交通安全教室 高齢者2回 65人、学生 7回 447人 免許返納 6人		
	1月		③自主防災組織立上サポート（山王） ④交通安全教室 学生 7回 583人 免許返納 11人 青色防犯パトロール実施		
	2月	②防犯灯設置 青色防犯パトロールの実施 特殊詐欺等注意喚起 ③自主防災組織立上サポート ④交通安全教室の実施 免許返納事業の実施	②特殊詐欺注意喚起メール 1回 防犯灯設置 3基（新規1、蛍光灯→LED2） 特殊詐欺対策電話機購入補助 5件 青色防犯パトロール実施 ③自主防災組織立上サポート（山王） ④交通安全教室 高齢者 1回 40人、学生 9回 606人 免許返納 6人		
	3月		②特殊詐欺対策電話機購入補助 2件 防犯灯設置 4基（新規1、蛍光灯→LED3） ③自主防災組織立上サポート（山王） ④交通安全教室 学生 5回 90人 免許返納 5人		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第 1 四 半 期</p>	<p>④交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながる考える。 刑法犯の発生件数は、30件(5月末)対前年比 減18件となっている。 交通事故発生件数は、7件(5月末)対前年比 増1件となっている。 免許返納については、連日高齢者の事故が報道されたため、増加したものと考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺については、随時注意喚起を行い、被害防止に努める。 ・交通事故発生を抑制するため、警察と協力し交通安全を呼びかける。
	<p>④交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながる考える。 刑法犯の発生件数は、48件(8月末)対前年比 減14件となっている。 交通事故発生件数は、10件(8月末)対前年比 減1件となっている。 しかし、8月に死亡事故(バイクの単独事故)が発生し、2019年では2件目となってしまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺については、随時注意喚起を行い、被害防止に努める。 ・交通事故発生を抑制するため、警察と協力し交通安全を呼びかける。 ・10月からは、日没時間が早くなるので公用車による青色パトロールを開始する。
<p>第 3 四 半 期</p>	<p>③地区防災計画では、地域の危険箇所の洗い出しなどを実施し、地図を作成するなど、防災の危機意識を高める機会となった。 また、防災講習会では、災害時の町の動きなどがわかり良かったとの意見があった。 ④交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながると考える。 刑法犯の発生件数は、65件(11月末)対前年比 減28件となった。 交通事故発生件数は、16件(11月末)対前年比 減1件となっている。 ④運転免許の自主返納事業については、交通インフラが良くないため、返納したがらない人が多いと思われるが12月末で56名、対前年比 増25名となっている。</p>	<p>12月中旬に特殊詐欺対策電話機等購入補助を開始したので、高齢者交通安全教室等でPRをしていく。 地区防災計画策定については、土砂災害警戒区域がある地区で実施していく。(できれば出水期前までに)</p>
<p>第 4 四 半 期</p>	<p>②特殊詐欺対策電話機購入補助については、12月中旬から開始し、3月まで7件の申請があった。 ④交通安全教室等については、継続して行うことが、交通事故防止へつながると考える。 刑法犯の発生件数は、68件(12月末)で目標比 15件、対前年比 減30件となった。 交通事故発生件数は、17件(12月末)で目標比 +-0件、対前年比 +-0件となっている。 昨年度からR121益子・茂木堺の舗装工事をしたところでは、交通事故が発生していない。 ④運転免許の自主返納事業については、交通インフラが良くないため、返納したがらない人が多いと思われるが3月末で76名、対前年比 増32名となっている。</p>	<p>交通安全対策では、インフラによるものもあることから、ハード・ソフトの両面で実施していく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	刑法犯、交通事故件数とも対前年比減であるので、次半期以降も年間計画に沿って事業を行う。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 防災意識を高め、災害に備えることができる自主防災組織の増加を期待している。	自主防災組織の立上げについては、引き続きサポートをしていきたいと考えている。 刑法犯については前年比で減少、交通事故は横ばいとなったので、目標値を目指したい。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	健康福祉課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	53件	現状値	68件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	17件	現状値	17件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		特になし		
	5月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の共有	特になし		
	6月		特になし		
	7月		特になし		
	8月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の共有	特になし		
	9月		災害時の民生委員活動に関する視察研修及び意見交換会（9/24）		
	10月		災害時安否確認対応、町防災訓練に参加（10/20）		
	11月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の共有	特になし		
	12月		民生委員一斉改選。避難行動要支援者名簿引継。		
	1月		特になし		
	2月	②民生委員・児童委員への安全・安心に関わる情報の共有	広報ましこにて民生委員の紹介		
	3月		災害時要支援者名簿の交換（H30→R元）		

	<p>③担当課の点検・検証 ②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度) 以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1 四半期</p>	<p>今四半期については事業展開がなかった。</p>	<p>必要に応じて民生委員・児童委員に情報の共有を図っていく。</p>
<p>第2 四半期</p>	<p>施策目的に対して有効な視察研修及び意見交換会を実施することができた。</p>	<p>必要に応じて民生委員・児童委員に情報の共有を図っていく。</p>
<p>第3 四半期</p>	<p>災害時の安否確認については、民生委員自身の身の危険も伴うため、確認時期・方法を整理する必要がある。 自治会との連携についても差がある。</p>	<p>必要に応じて民生委員・児童委員に情報の共有を図っていく。</p>
<p>第4 四半期</p>	<p>定例会が資料配布のみとなったため、自治会との連携・すみ分け等について話し合いができなかった。</p>	<p>必要に応じて民生委員・児童委員に情報の共有を図っていく。 災害時の対応方法について明確にする。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	②年間計画に沿って事業運営を継続します。
	第2四半期	②意見・提言 年間計画（スケジュール・工程）に沿った事業運営を継続されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	①災害時における、自治会と民生委員・児童委員との連携やすみ分けについて整理し、共通理解を図る。
	総括（第4四半期も含む）	②意見・提言 災害時などの緊急事態に備えて、自治会と民生委員・児童委員との連携は重要だと思われる。	

		課局名	建設課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	53件	現状値	68件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	17件	現状値	17件
KPI		本年度目標値			
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月		④真岡土木事務所管内異常気象時における関係機関連絡調整会議(4/15)・補助事業交付申請ヒアリング(4/19)		
	5月	④通学路の危険箇所を点検・整備し、交通事故の防止に努める。	④町道8号東田井線区画線及び粗相修繕工事発注 ・益子町内道路維持工事一括発注(田野、益子、七井)		
	6月		④町道18号七井大平線詳細設計説明会(6/4) ・補助事業ヒアリング(6/5) ・今年度事業について真岡土木事務所との意見交換会実施(6/14)		
	7月		④国道294号道路期成同盟会総会、要望活動(7/25)		
	8月	④通学路の危険箇所を点検・整備し、交通事故の防止に努める。	④町道5号舗装修繕工事の発注 ・町道8号区画線工事の完了 ・橋梁長寿命化修繕計画策定業務の委託発注 ・町道33-1号大平北中線舗装修繕工事の完了 ・栃木の道現場検証実施(8/20)		
	9月		④町道18号七井大平線地権者打合せ(9/17) ・町道18号七井大平線地元との話し合い(9/30)		
	10月		④真岡土木道路の生活道路対策エリアの登録について打合せ(10/3) ・安全安心の道づくりを求める県民大会参加(10/8) ・補助事業交付金ヒアリング(4/19) ・町道18号地権者宅訪問(10/21) ・安全安心の道づくりを求める全国大会参加(10/29)		
	11月	④通学路の危険箇所を点検・整備し、交通事故の防止に努める。	④益子町通学路安全対策推進会議参加(11/18) ・町道18号補償関係者訪問(11/25)		
	12月		④町道18号用地、補償業務の予算化 ・補助事業交付金ヒアリング(12/3)		
	1月		④町道18号七井大平線の業務委託の準備を行った。		
	2月	④通学路の危険箇所を点検・整備し、交通事故の防止に努める。	④町道18号に係る用地測量業務委託契約締結(2/7)		
	3月		④町道18号に係る地権者に通知し、繰越事業での測量を開始(3/24) ・豆田橋下部工事完成(3/25) ・田野、益子、七井それぞれの地区の道路維持補修工事一括発注分完成		

	<p>③担当課の点検・検証 (②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。)</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>④県土整備に対し、真岡土木事務所と意見交換会を実施した。今年度の事業及び今後の事業について意見を交換した。 ・町道8号東田井線の区画線及び舗装修繕工事の発注を行った。 ・通学路を含む、町道の修繕を迅速に行うため、道路維持工事の一括発注を行った。 ・町道18号七井大平線の詳細設計説明会を開催した(6/4)</p>	<p>④県と連携し国県道の事業の促進や要望箇所を協議していく。町道8号東田井線の通学路への区画線及び舗装の修繕を発注し、児童・生徒の安全確保に向けて工事を進めていく。 ・通学路を含む、町道の修繕を一括発注で行い、特に通学路関係の道路に関しては迅速な対処をしていく。 ・町道18号七井大平線の詳細設計説明会を開催したが、地権者からの意見がまとまらなかったため、今後どのような形がよいか再度検討していく。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④町道33-1号舗装修繕、及び町道8号の区画線工事が完了した。 ・町道18号七井大平線の話し合いを再度おこなった。</p>	<p>④県や協議会と事業の促進や要望を行っていく。 ・町道8号東田井線の区画線工事が完了し供用を開始した。 ・町道18号七井大平線地元との話し合いを再度行い、地権者の方の意見がまとまってきたので事業実施に向け準備を行う。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④町道18号七井大平線の用地補償関係の再予算化を行った。</p>	<p>④県や協議会と事業の促進や要望を行っていく。 ・町道18号七井大平線の事業化に向けて、用地測量等を行っていく</p>
<p>第4四半期</p>	<p>④町道18号七井大平線の用地補償関係の業務を委託した。 ・豆田橋の下部工事が完了した。 ・道路維持補修工事一括発注により速やかな修繕を行うことができた。</p>	<p>④町道18号七井大平線の用地買収と物件補償の手続きを速やかに進め、早期着工できるように業務を実施していく。 ・豆田橋の上部工事を適正に管理監督し早期完成を目指す。 ・危険箇所等を早期に見出し修繕を行っていく。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降の方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 県との協議も含め、今後も道路（通学路）の整備に努めていただきたい。	①県との協議を含め、関係者の理解を得ながら早期整備に向けて、事業を進めていく。
	第2四半期		
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 安心して通学できるよう、継続を希望する。	④町道18号七井大平線の用地、物件補償の手続きを速やかに進める。 ・その他危険箇所については早期発見、早期修繕を行っていく。
	総括（第4四半期も含む）		

		課局名	学校教育課		
基本目標	幸せを感じる暮らしをつくる	政策	地域の安全・安心体制の強化		
施策	防犯・防災体制、交通安全対策の充実	進捗状況	100%		
KPI	刑法犯発生件数（暦年：1～12月）	本年度目標値	53件	現状値	68件
KPI	交通事故発生件数（人身 暦年1～12月）	本年度目標値	17件	現状値	17件
KPI		本年度目標値		現状値	
		①年間計画（スケジュール・工程）		②実施内容・実績・成果	
主な 取組 内容	4月			②スクールガード・リーダー委嘱状交付、スクールガード報告・保険加入(4/4) ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会出席者報告(4/17) ②地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請(4/22) ②各小中学校へ「年度始の交通安全指導・事故防止文書」「通学時の安全確保依頼文書」「安全・安心マップ作成依頼」を配布(4月随時)	
	5月	②スクールガード・リーダー委嘱状交付 ②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②各小中学校へスクールガード名簿提出依頼、ホランテック保険加入処理 ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会の出席者確認報告後日資料をスクールガードへ情報提供配布。 ②令和元年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金交付申請		②4月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(5/7) ②スクールガード・リーダー連絡協議会・育成講習会実施(5/13) ②各小中学校へ「学校安全確保の施策等について」「ぼうはんカレッジ2019案内通知」「登下校時の児童生徒の安全確保及び警察連携による不審者情報の共有について通知」を配布(5月随時)	
	6月			②5月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(6/3) ②各小中学校へ「令和元年度交通安全ファミリー作文コンクール募集案内」周知(6/27)	
	7月			②6月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(7/1) ②各小中学校へ「防犯ホスター及び地域安全マップ募集」配布(7/4)「登下校時における子供の安全確保について」配布(7/23)「交通安全県民総ぐるみ運動の効果的推進について」配布(7/24)	
	8月	②スクールガード装備品(信号灯等)不足分購入・配布 ②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ③次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査 ④益子町通学路安全対策推進協議会開催にあたり、各小中学校、スクールガード・PTA等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼		②7月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(8/1) ②各小中学校・スクールガード・リーダーへ「安全で安心なまちづくり地域交流会(県央地区)の開催通知」を配布(8/15) ②各小中学校へ「ながら見守り隊ネジグ募集通知」を配布(8/29) ②各小中学校へ「秋の交通安全県民総ぐるみ運動」配布(8/30) ④登下校時の児童生徒の集合場所等の点検について 調査依頼 (8/15) ④「とちぎの道」道路の現場検証参加 (8/20)	
	9月			②8月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(9/2) ②各小中学校へ「秋の全国交通安全運動実施通知」配布(9/4) ②次年度の地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施調査報告(9/5) ②各小中学校へ「令和元年度未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」の開催通知配布(9/26) ④益子町通学路安全対策推進協議会 新規危険箇所申請受理 (9/2)	
	10月			②9月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(10/1) ②スクールガード装備品(帽子)不足分購入・配布(10/10)	
	11月	②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ④益子町通学路安全対策推進協議会開催(11月18日予定) 各小・中学校、スクールガード・リーダー、真岡土木事務所、真岡警察と共に通学路の危険箇所の合同点検実施。 また前年度の対策実施後の効果把握。 対策一覧表・対策箇所図を作成・公表、関係機関で認識共有。		②10月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(11/1) ②益子西小学校スクールガード1名新規登録者申請受理・保険加入処理(11/8) ④益子町通学路安全対策推進協議会開催(11/18) ②各小中学校へ「年末交通安全県民総ぐるみ運動」要項・チラシ配布(11/21)	
	12月			②11月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(12/4) ②安全で安心なまちづくり地域交流会の参加申込(益子中学校区スクールガード・リーダー参加) 報告処理(12/3) 参加(12/11)	
	1月			②12月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/7) ②次年度新1年生配布安全笛申込み(1/9)防犯ブザー配布(1/28)「じょうずに鳴らそう防犯ブザー」掲示依頼配布(1/29)春の交通安全県民総ぐるみ運動の効果的推進通知配布(2/5)	
	2月	②毎月、スクールガード・リーダーより活動報告書の提出・確認 ②新小学1年生へ防犯ブザー購入、1日入学時に配布 ②小学校1日入学時、保護者へスクールガード募集案内通知配布 ②「広報ましこ(おしらせ版)」にて、スクールガード募集案内周知 ②スクールガード・リーダーへ謝金の支払い処理 ②次年度のスクールガード・リーダー継続確認 ②令和元年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出		②1月分スクールガード・リーダー活動報告書受理(1/4) ②各小中学校へ「春の交通安全県民総ぐるみ運動の効果的推進通知」配布(2/5)七井小へ「令和2年度自転車シュミレーター交通安全教室実施案内」文書送付(2/10)新小1へ「たいせつないのちとあんぜん」リーフレット配布(2/21) 広報配布時自治会回覧にてスクールガード募集案内チラシ配布 (2/28)	
	3月			②新入学児童へ「反射材」(3/2)「新入生誘拐防止チラシ」(3/19)配布 ②令和元年度地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費補助金実績報告提出(3/10) ②次年度のスクールガード・リーダー謝金の支払い処理・継続確認(3/13) ②広報ましこお知らせ版下半期にスクールガード募集案内掲載(3/15) ②各小中学校へ「2020年始交通安全指導及び事故防止通知」配布(3/18) ④益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図作成・公表 (3/31)	

新ましこ未来計画推進シート シート2【 四半期検証シート 】

	<p>③担当課の点検・検証</p> <p>②を踏まえ、取組の必要性、効率性、有効性、改善点などを洗い出し、現時点の課題整理まで行う。</p>	<p>④次期四半期(第4四半期は、次年度)以降の課題への方針・改善点</p>
<p>第1四半期</p>	<p>②令和元年度のスクールガード数は77名であった。 (昨年度より4名減少)</p> <p>平成30年度 81名 平成29年度 75名 平成28年度 78名 平成27年度 87名 平成26年度 84名 平成25年度 86名 平成24年度 84名 平成23年度 80名</p> <p>スクールガード平均年齢 令和元年度 63歳(最高齢89歳。70歳以上は29名。約4割) 平成30年度 65歳(最高齢84歳。70歳以上は22名。約3割) 平成29年度 65歳 平成28年度 63歳</p> <p>これらの結果から、【スクールガードの新規加入者の減少、高齢化】という課題が確認できる。</p>	<p>②【スクールガードの新規加入者の減少、高齢化】という課題を解決するため、新規登録者確保に取り組む。</p> <p>今年度も年度当初に「広報ましこ(お知らせ版)」に募集案内を掲載。広報配布時、全戸回覧形式にて募集案内通知配布を実施。</p> <p>過去の傾向を見てみると、孫が新1年生でスクールガードに加入する方が多い。よって益子町内4小学校1日入学時に、全保護者宛に新規募集案内通知を配布予定。</p>
<p>第2四半期</p>	<p>④令和元年度益子町通学路安全対策推進協議会の開催(11月18日開催予定)にあたり、8月～9月にかけて益子町立各小学校中学校、スクールガードリーダー・益子町PTA連絡協議会、益子町交通指導員等に通学路の点検を行ってもらい、新たな危険箇所の申請依頼をした。結果、今年度は7カ所の新規危険箇所申請があった。11月18日の合同点検にて現場視察及び対策方法を協議予定。</p>	<p>④益子町通学路安全対策推進協議会の開催前の危険箇所申請依頼は例年実施しているが、危険箇所申請は随時ある。町道の場合、建設課相談ですぐに対応出来る件もあるので、今後も申請があった場合はその都度確認する方針で対応したい。</p>
<p>第3四半期</p>	<p>④11月18日、令和元年度益子町通学路安全対策推進協議会を開催。(平成26年度から開始し、今回で6回目となる)今年度新たに申請のあった7箇所の現場視察を実施した。</p> <p>その後、事業主体を中心に新規7カ所の対策内容を協議した。また、昨年度までに視察・対策検討済みの39カ所について、事業主体ごとに現時点での対策進捗状況報告を行い情報共有ができた。</p>	<p>④益子町通学路安全対策推進協議会の通学路危険箇所視察時において、真岡土木事務所、真岡警察、各小中学校通学路担当教諭、スクールガードリーダー、益子町交通指導員、益子町建設課・総務課等、様々な立場の方々による現場説明は大変役に立ち、通学時の現状詳細を十分に把握することができた。</p> <p>次期四半期には各小学校の1日入学説明会があるので、スクールガードの勧誘チラシの作成、配布を実施し、新規スクールガード確保に努めたい。</p>
<p>第4四半期</p>	<p>②2月中旬の各小学校1日入学説明会時に、新規スクールガードの勧誘チラシ配布を実施。また3月末の町広報、各自治会回覧にて勧誘チラシを配布し周知活動に努めた。新規加入者確保のため、募集周知活動の必要性があった。</p> <p>④益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図について、3月31日に公表。今年度から、従来の関係者への文書公表のみの方法から、対策一覧表・対策箇所図の町ホームページへの掲載を追加し、公表方法を改善した。</p>	<p>②その必要性をふまえ、次年度も「益子町健幸ポイント」等の特典や、装備品の無料貸付、負担にならない活動内容等の情報を広く発信し続け、スクールガード登録数の増加に努めたい。</p> <p>④益子町通学路安全対策推進協議会 対策一覧表・対策箇所図については次年度も町ホームページに掲載し、安全対策を進める。</p>

		⑤外部評価委員会からの意見・提言	⑥外部評価委員会・議会からの意見・提言を受けての次半期（下半期は、次年度）以降への方針・改善点
上半期	第1四半期	委員の検証及び意見・提言 ①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし	次半期は、更にスクールガードリーダーと連絡を密に取り合い情報を連携し、スクールガードの新規登録者募集の為の周知活動に力を入れ、年間計画に沿った事業運営を継続したい。
	第2四半期	②意見・提言 スクールガードの補充と確保に向け努力されたい。	
総括（下半期も含む）	第3四半期	委員の検証及び意見・提言	次年度も、スクールガードリーダーと連絡を密に取り合い情報を連携し、スクールガード新規登録者募集の周知活動に力を入れていきます。そして、年間計画に沿った事業運営を継続し、防犯や交通安全対策の充実に努めます。
	総括（第4四半期も含む）	①継続性について このまま継続・・・5委員 改善・見直し・・・なし 廃止・終了・・・なし ②意見・提言 今後も子どもたちの通学路の安全確保のため、各機関との連携を図り、スクールガードの人材確保と安全対策に努めていただきたい。	